

泉南市都市公園等管理運営プラン (案)

目次

1 泉南市都市公園等管理運営プランの策定にあたって	2
1-1 背景と目的.....	2
1-2 計画期間と計画対象区域.....	2
1-3 計画の位置づけ.....	2
1-4 対象となる公園.....	3
2 泉南市の現状	4
2-1 人口.....	4
2-2 土地利用.....	7
2-3 公園整備状況.....	9
2-4 公園配置.....	12
2-5 公園施設状況.....	15
2-6 利用団体.....	18
2-7 上位計画での都市公園等の位置づけ・課題.....	19
3 公園のニーズ把握	29
3-1 市民アンケート.....	29
3-2 小学生アンケート.....	36
3-3 自治会等アンケート.....	43
4 現状と課題のまとめ	45
4-1 小学校区ごとの現状と課題のまとめ.....	45
4-2 全体の現状と課題のまとめ.....	48
5 全体計画	50
5-1 目指すべき公園の未来と基本方針.....	50
5-2 取組方針.....	51
参考資料	61

1 泉南市都市公園等管理運営プランの策定にあたって

1-1 背景と目的

都市における公園は、良好な都市環境の保全、防災、レクリエーション、都市景観の形成、環境保全機能に加え、子どもの遊び場、高齢者等の健康増進の場、地域交流の場等、多面的な機能を発揮する場所です。泉南市内においては、都市公園、児童公園、その他公園を合わせて 151 ヶ所の公園があります。しかしながら、多くの公園は高度経済成長期の昭和 30（1955）年代から 40（1965）年代における急激な人口増加に伴い開設されており、人口減少や少子高齢化に伴い、求められるニーズが異なったものとなっています。

本計画は、公園の利用状況や公園施設等の現状把握を行い、効果的・効率的に管理運営を進めるための計画となる「泉南市都市公園等管理運営プラン」を策定するものです。

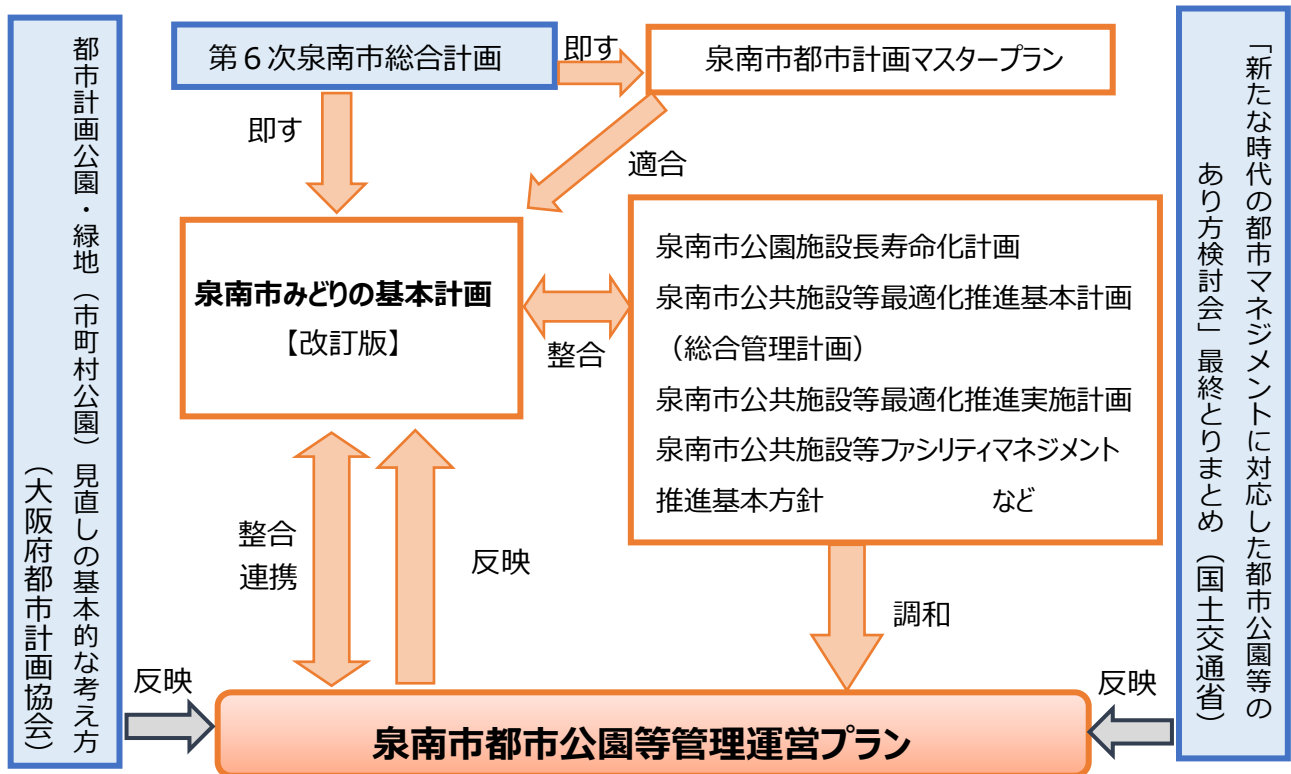
1-2 計画期間と計画対象区域

本計画は、令和 6 年度から令和 15 年度の 10 年間を計画期間とし、今後の社会動向や計画の進捗状況により、必要に応じて計画の修正、見直しを行います。

また、計画対象区域は、本市全域とします。

1-3 計画の位置づけ

泉南市都市公園等管理運営プランは、「第 6 次泉南市総合計画」「泉南市都市計画マスタープラン」を上位 2 計画とし、「泉南市みどりの基本計画」「泉南市公園施設長寿命化計画」と整合し、国土交通省の「新たな時代の都市マネジメントに対応した都市公園等のあり方検討会」最終とりまとめおよび大阪府都市計画協会「都市計画公園・緑地（市町村公園）見直しの基本的な考え方」を反映させた公園の管理・整備等に関する施策を示すものです。



1-4 対象となる公園

本計画で対象とする公園は以下の通りです。

表 1-1 プランの対象となる公園

種別		概要
都市公園	街区公園	もっばら街区に居住する者の利用に供することを目的とする公園で誘致距離250mの範囲内で1箇所当たり面積0.25haを標準として配置する公園。
	近隣公園	主として近隣に居住する者の利用に供することを目的とする公園で近隣住区当たり1箇所を誘致距離500mの範囲内で1箇所当たり面積2haを標準として配置する公園（例：依池公園）。
	総合公園	都市住民全般の休息、観賞、散歩、遊戯、運動等総合的な利用に供することを目的とする公園で都市規模に応じ1箇所当たり面積10～50haを標準として配置する公園（例：泉南りんくう公園）。
その他公園	児童遊園 (ちびっ子広場)	児童福祉法（第40条）に規定されている児童に健全な遊びと健康の増進、情操を豊かにすることを目的に設置された公園。
	開発公園	開発行為により設置された、都市公園以外の公園。
	農業公園	農業と豊かな自然に親しむ機会を市民に提供することにより、市民の農業と自然に関する理解を深め、もって農業の振興と地域の活性化に寄与するため設置する公園（例：農業公園「花咲きファーム」）。

参考：国土交通省「公園とみどり」泉南市 HPI「都市公園一覧表」、「泉南市農業公園条例」

2 泉南市の現状

2-1 人口

(1) 人口の推移

本市の人口は、2005（平成 17）年をピークに減少に転じ、2020（令和 2）年時点では 60,102 人になっています。

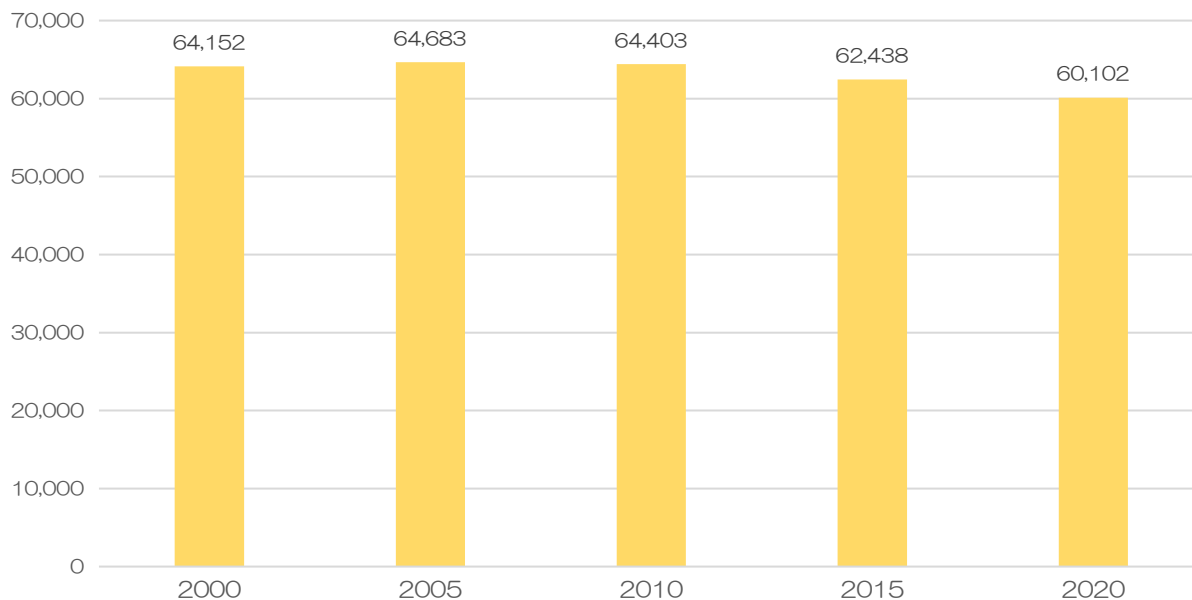


図 2-1 人口の推移

参考：総務省「国勢調査」

(2) 年齢 3 区分人口比率

年齢 3 区分別の人口比率は、府全体に比べて 15 歳未満の年少人口と 65 歳以上の高齢人口の比率が高くなっています。

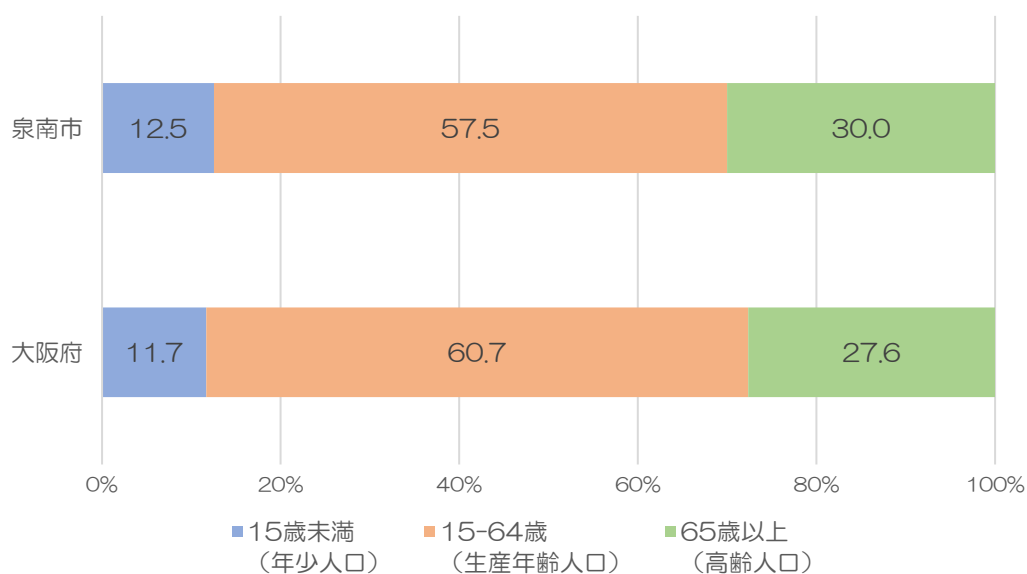


図 2-2 年齢 3 区分人口比率 2020(令和 2) 年

参考：総務省「国勢調査」

(3) 人口分布

学校区別でみると、特に一丘小学校区に人口が集中しています。また、砂川小学校区から樽井小学校区にかけて市街地が続いており、多くの市民が住んでいます。一方で、南部の山林地帯や海岸線を除く泉佐野市・阪南市の市域界で人口が少なくなる傾向があります。

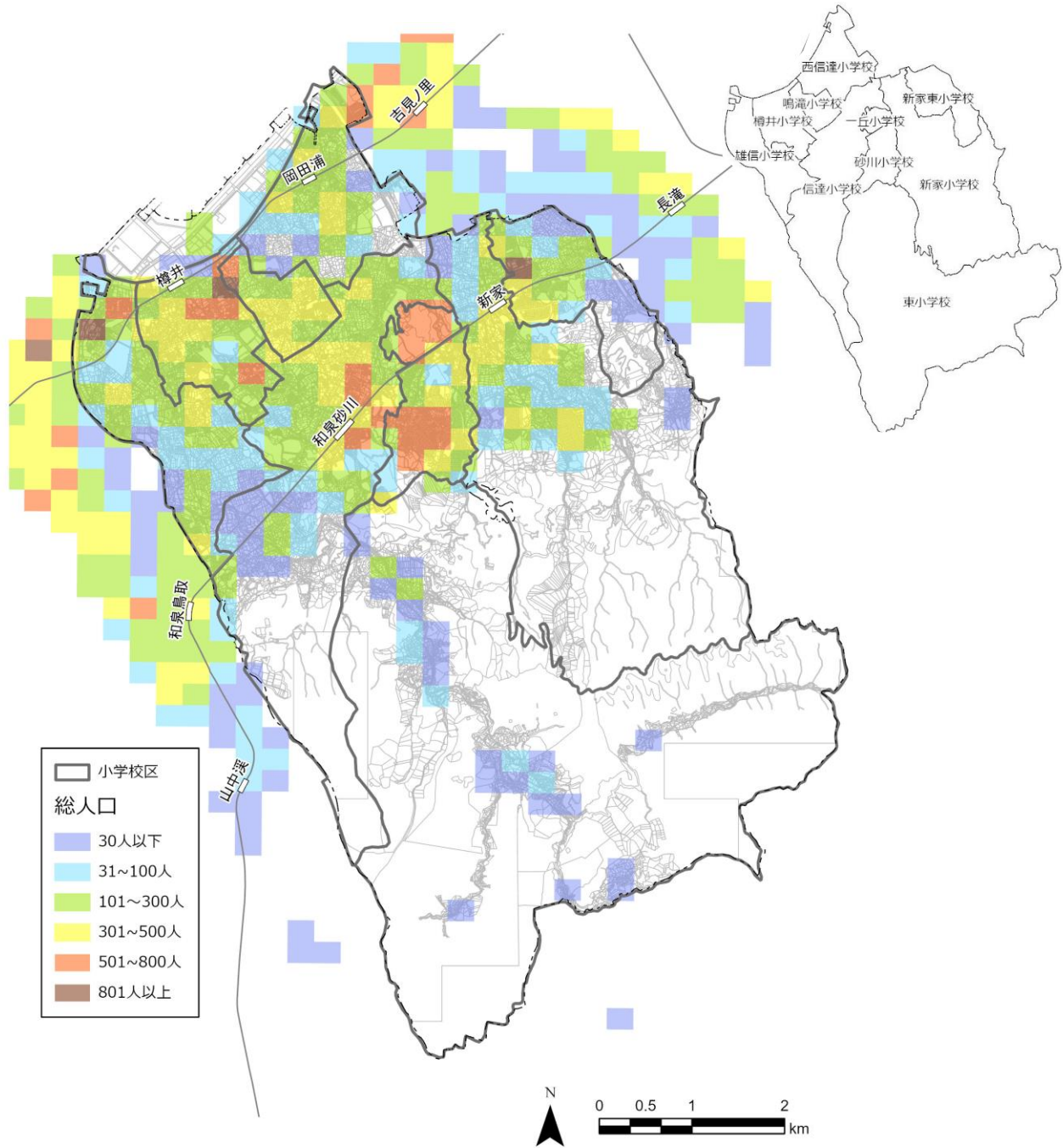


図 2-3 人口分布 2020(令和2)年

参考：総務省「国勢調査」

(4) 高齢人口分布

市内の駅周辺で高齢者が多い地域が目立ちます。特に新家駅周辺や一丘小学校区、砂川小学校区、樽井小学校区と鳴滝小学校区の境では高齢者の人数が他地域よりも多い傾向があります。

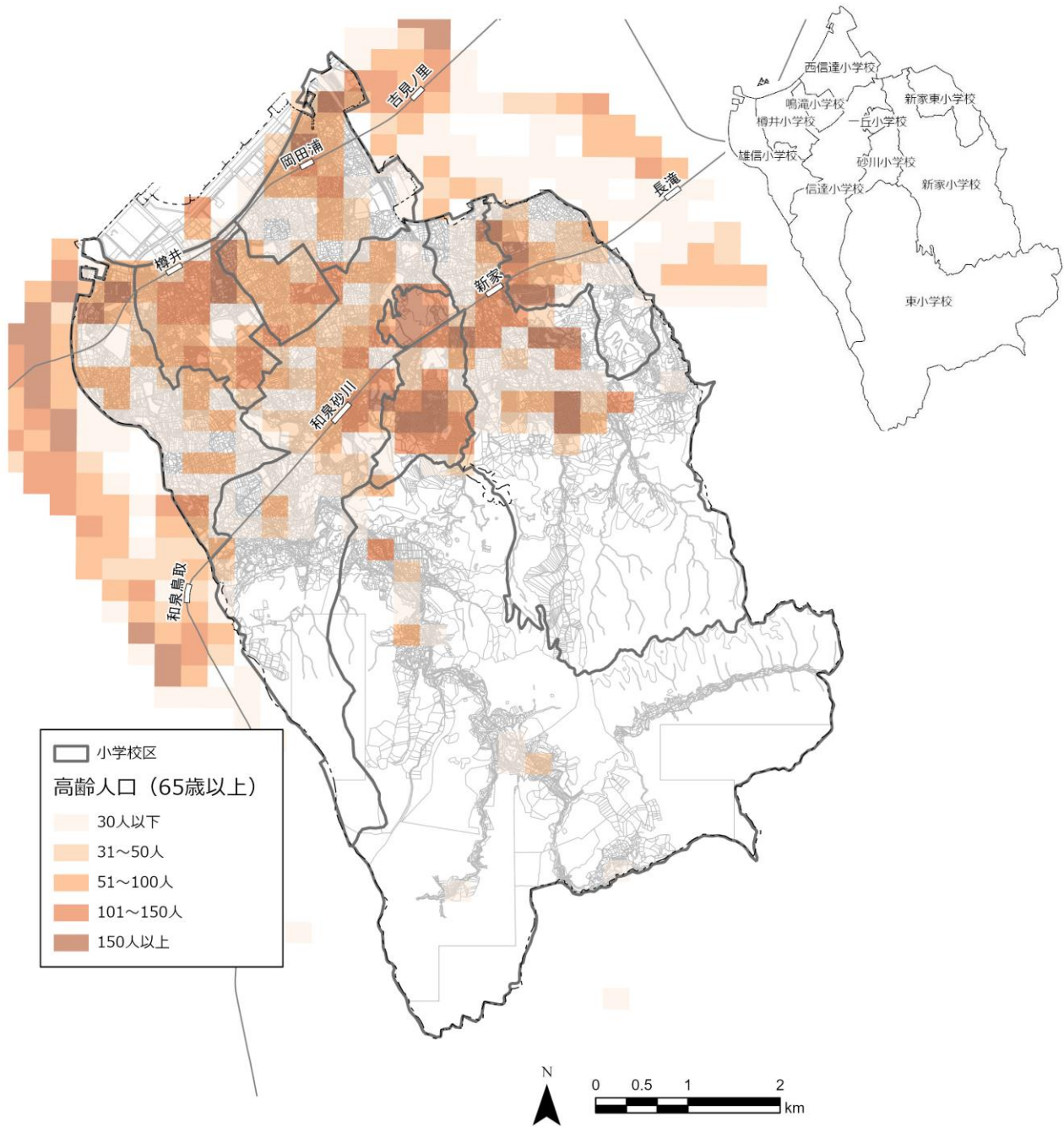


図 2-4 地区別総人口 2020(令和2)年

参考：総務省「国勢調査」

2-2 土地利用

(1) 土地利用状況

本市の土地利用の状況は、図 2-5 に示すとおりです。一般市街地や商業業務地、工場地、公共施設用地といった都市的な土地利用の割合が約 31.2%で、農地や山林等の自然的な土地利用の割合は約 65.6%となっています。

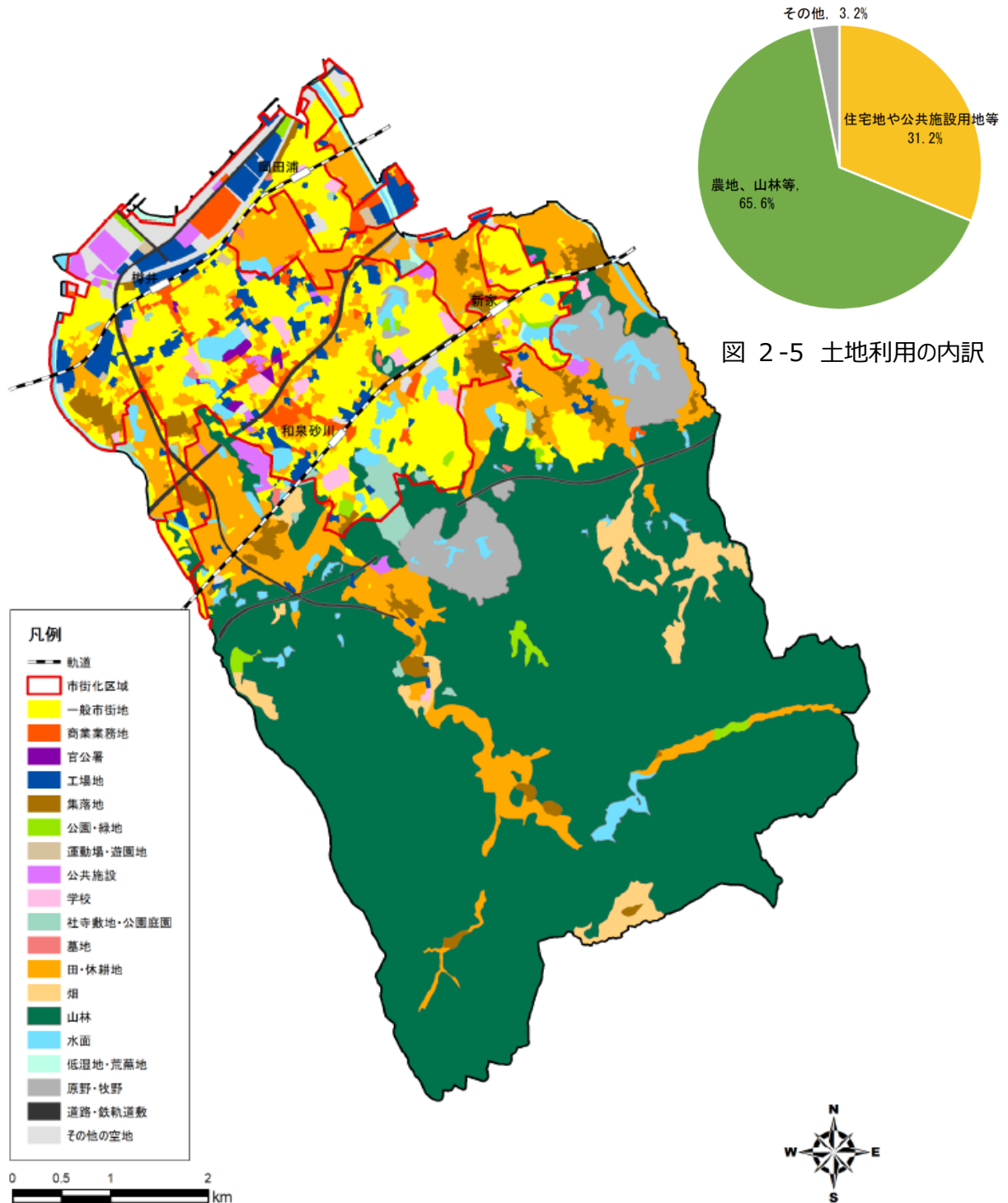


図 2-5 土地利用の内訳

図 2-6 土地利用現況図

参考：大阪府「都市計画基礎調査」、泉南市「みどりの基本計画」

(2) 緑被率

500mメッシュ単位での緑被率は、図 2-8 のとおりです。市街化区域の平均緑被率は 47.1%、市街化調整区域は 83.1%となっていますが、市街化区域の中でも、和泉砂川駅や樽井駅周辺では緑被率が低い地区が見られます。

また、近隣市町村や府平均、大阪市等と本市の緑被率を比較すると、本市の緑被率は近隣市等に比べて比較的高いことがわかります（図 2-9）。

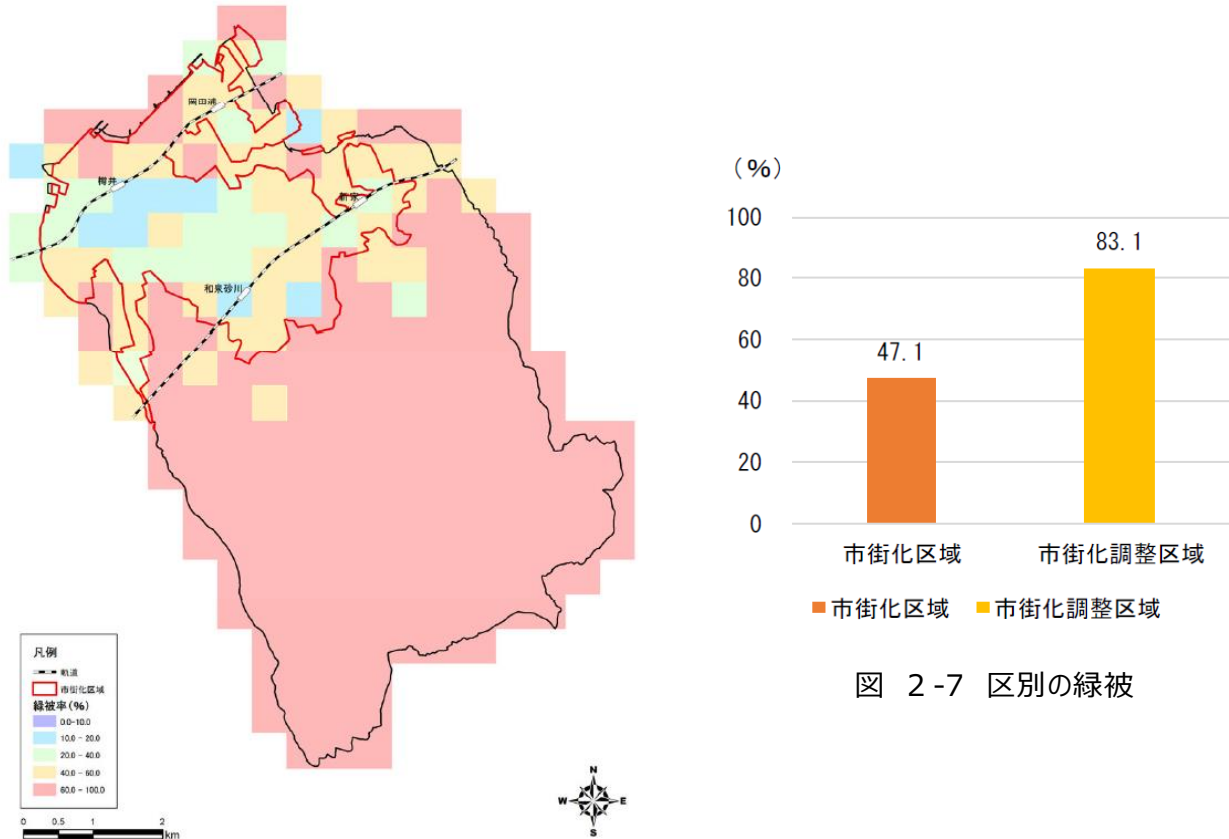


図 2-7 区別の緑被

図 2-8 メッシュ別緑被率

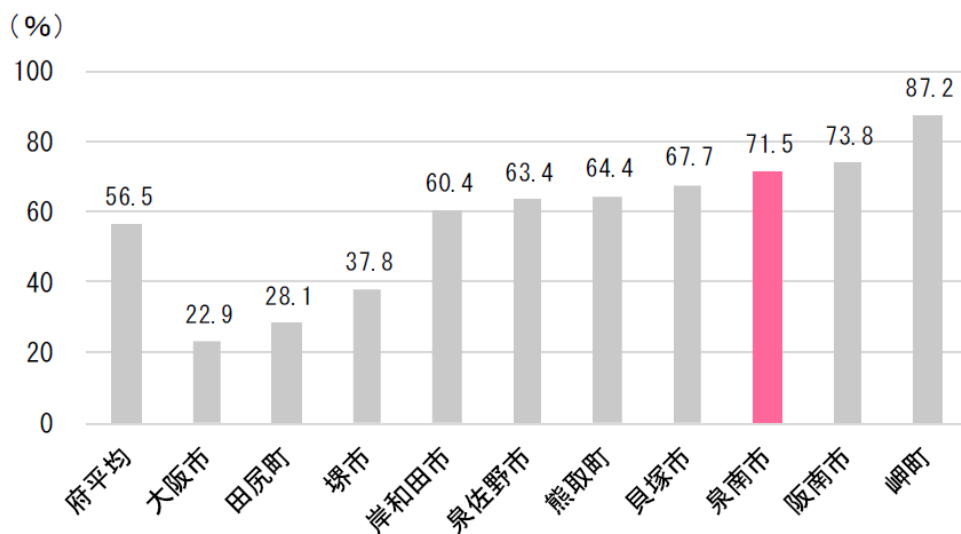


図 2-9 近隣町村との緑被率比較

参考：大阪府「都市計画基礎調査」、泉南市「みどりの基本計画」

2-3 公園整備状況

本市の都市公園は、138カ所、51.48haが開設済みで、その内訳は、街区公園が131箇所（12.61ha）、近隣公園が4箇所（6.05ha）となっています。その他、児童遊園や開発公園、農業公園を含めた公園全体では153箇所、61.88haが開設済みです。

1人当たりの都市公園面積でみると現在8.75㎡/人となっています。泉南市みどりの基本計画（2019年3月策定）では約8㎡/人を目標として設定しており、現段階で目標値を達成していることが分かります。これは総合公園である泉南りんくう公園の開設によるところが大きく、今後も引き続きみどりの量と質の維持・増進に取り組む必要があります。

表 2-1 都市公園等の整備現況

種別	箇所数（箇所）	面積（ha）	1人あたり面積（㎡/人）
街区公園	131	12.61	2.14
近隣公園	4	6.05	1.03
総合公園	1	25.85	4.39
都市緑地	2	6.98	1.19
都市公園計	138	51.48	8.75
児童遊園	10	0.31	0.05
開発公園	4	0.09	0.02
農業公園	1	10	1.70
都市公園等計	153 (151)	61.88 (54.91)	10.51 (9.33)

※現在計画中の泉南中央公園は含まない。また、（）は都市緑地を除いた数値を示す。
令和5年11月現在の数値

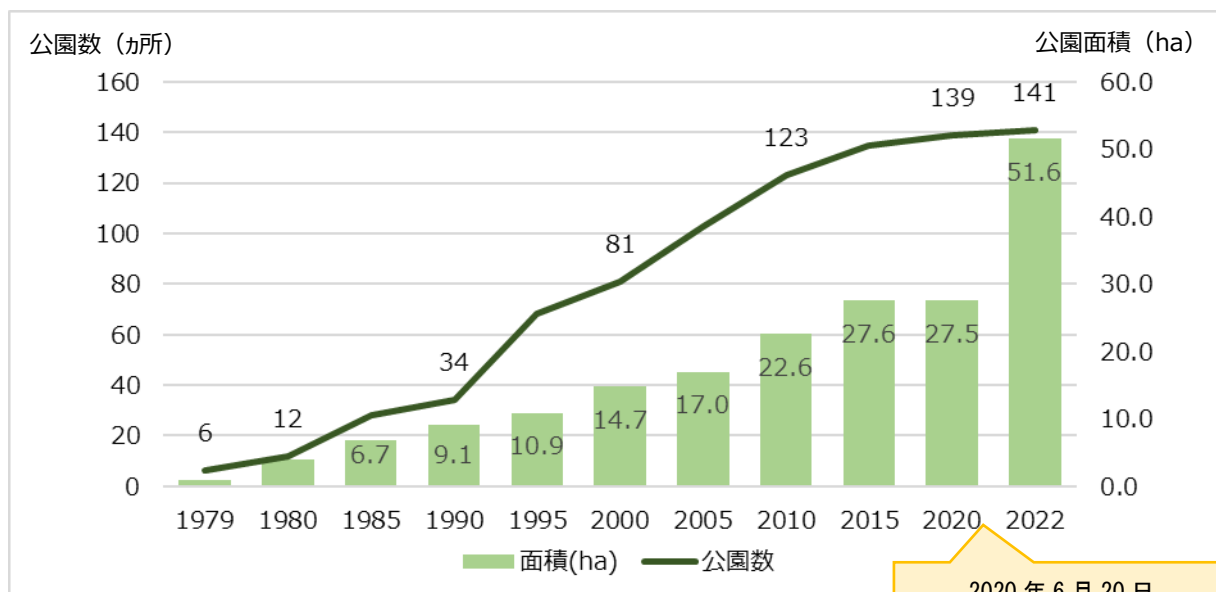


図 2-10 都市公園数と面積の推移

2020年6月20日
泉南りんくう公園供用開始

参考：大阪府統計年鑑（数値は各年3月31日現在）

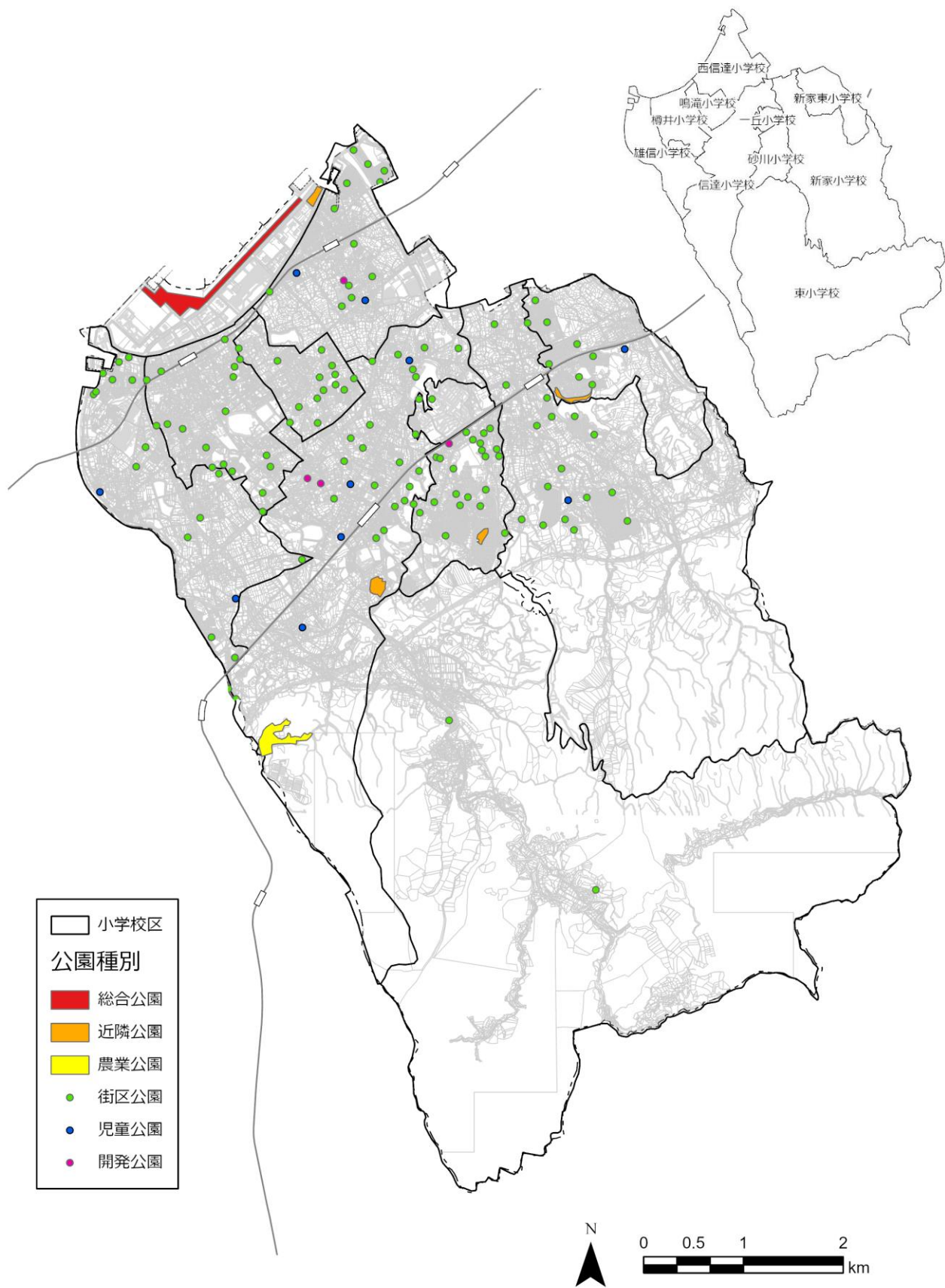


図 2-11 都市公園等分布図

また、開園からの経過年数で見ると、1990年代から2000年代に新設された15～20年未満と25年～30年未満の公園が最も多くなっています。今後さらに経過年数が経つにつれて、施設更新や再整備が必要となる公園が増加し、維持管理に係る財政負担は増加することが予想されます。

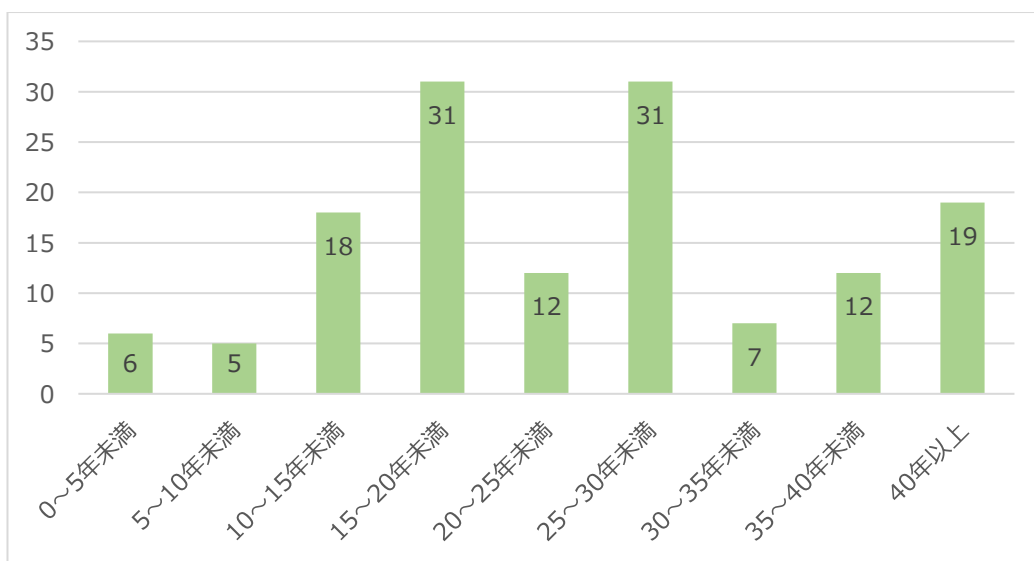


図 2-12 開園からの経過年数

参考：大阪府統計年鑑

本市が管理する公園は小規模なものが多く、都市緑地を除いた151箇所のうち116箇所が1,000㎡未満であり全体の約77%を占めています。その中でも、施設整備や利活用等の条件がより厳しくなる300㎡未満の狭小な公園が59箇所あり、全体の39%を占めています。

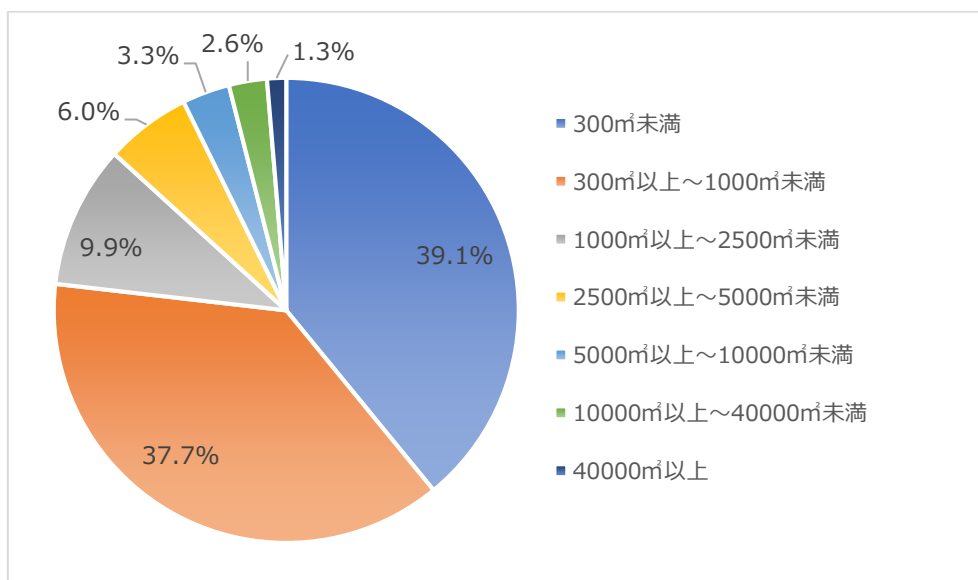


図 2-13 公園の面積別割合

2-4 公園配置

公園の配置状況について、比較的広い範囲からの利用を想定している総合公園（泉南りんくう公園）と近隣公園をみると、海岸沿いか阪和線沿い・市南部に位置しています。南海本線と阪和線に挟まれた地域は身近にいける規模が大きい公園が少ない状況です。

- ・ 海岸沿い : 泉南りんくう公園、りんくう南浜公園
- ・ 阪和線沿い・市南部 : 新家公園、砂川公園、俵池公園

また、小学校区別に立地している公園の面積を見ると 5000 m²以上の公園がない校区がみられます。

同様に校区別に、市街化区域が公園誘致圏に含まれる割合（以下、誘致圏カバー率）を見ると、おおむね 80%以上となっています。しかし西信達小学校や雄信小学校は誘致圏カバー率が他の地域に比べて低く、公園に歩いて向かえない地域が多く存在することがうかがえます。また、図 2-15 からわかるように砂川小学校校区や鳴滝小学校校区の一部地域では多くの街区公園の誘致圏が重なっていることが確認でき、公園の配置に偏りがあるといえます。

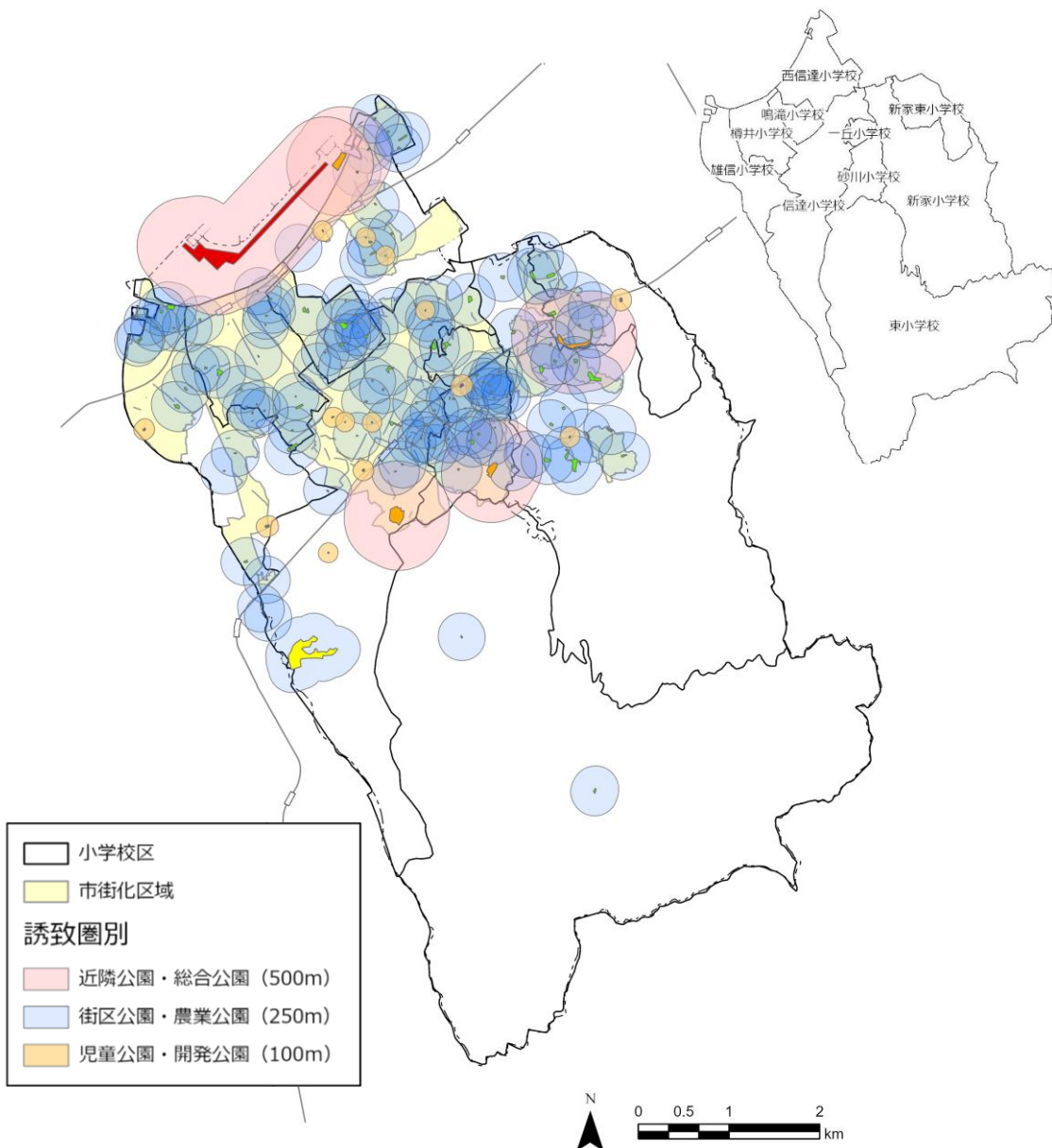


図 2-14 公園配置と誘致圏域

表 2-2 各校区内の公園と誘致圏カバー率

小学校区	10,000㎡以上	5,000～ 10,000㎡未満	2,500～ 5,000㎡未満	1,000～ 2,500㎡未満	300～ 1,000㎡ 未満	300㎡未 満	合計	公園誘致圏の カバー率 (市街地区域の み)
西信達 小学校	(りんくう南浜 公園) *1			閑空ベイサイド リゾート公園	10	5	17	77.82%
一丘小学校		海宮宮池東公園 海宮宮池西公園			1	0	3	87.87%
新家小学校		大池公園 風の谷公園	新家上村公園 森の公園 泉の公園	イトーピア1号 公園 新家中村公園 海の見える公園	8	1	17	99.21%
新家東 小学校	新家公園		新家楠台1号公 園 新家楠台2号公 園	新家北公園 サングリーン1号 公園	2	3	10	100.00%
砂川小学校	砂川公園			砂川第二公園	9	13	24	99.95%
東小学校					1	1	2	_*2
信達小学校	俵池公園 農業公園		牧野公園	稻荷公園 一丘公園	7	17	29	90.96%
樽井小学校			樽井公園	ミズホ樽井公園 樽井南海1号公園	4	9	16	86.23%
雄信小学校		長山緑地公園	男里公園	男里第2公園 パークヒルズ和 泉砂川公園	10	5	19	62.90%
鳴滝小学校			鳴滝第3公園	宮本公園 前畑公園	5	6	14	97.53%

※1 りんくう南浜公園は西信達小学校区外ではあるが校区に隣接しているため

※2 東小学校区は市街化区域が指定されていないため

太字：近隣公園

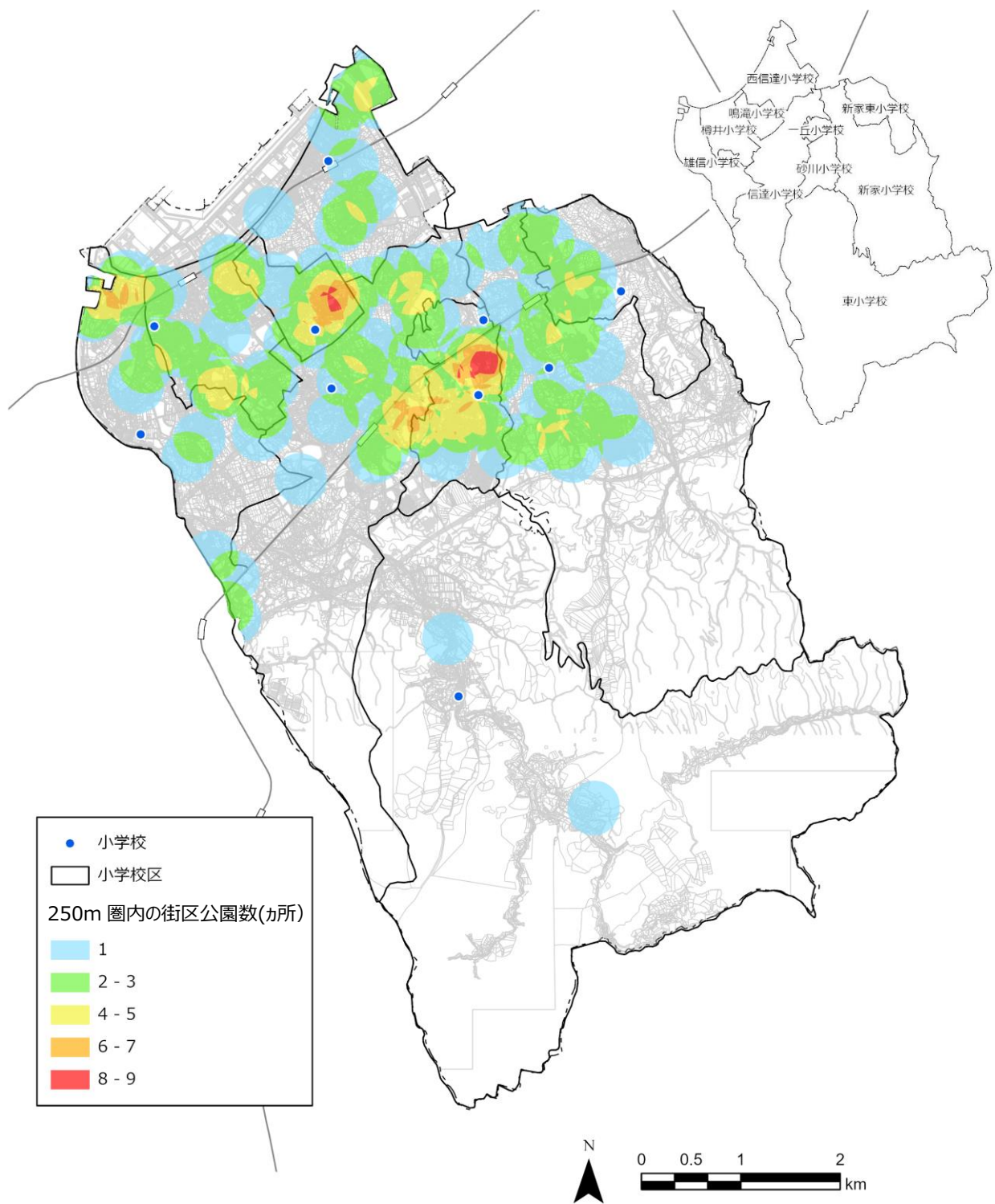


図 2-15 歩いて行ける距離内*にある街区公園数

※歩いて行ける距離内：街区公園の誘致圏距離 250m

2-5 公園施設状況

都市公園に設置されている施設を見てみると、遊具は24カ所で、休養施設は19カ所で設置されていません。また、遊具と休養施設のいずれも設置されていない公園は5カ所あり、0~3基の施設数の少ない公園は、全体の30%を超えている一方、10基以上の施設が設置されている公園も約14%を占め、今後は地域ごとの現状に合わせた公園施設の整理、機能の分担が求められます。

また、トイレが設置されている公園は市内に5カ所のみとなっており、その位置は図2-17に示す通りです。

表2-3 都市公園に設置している遊具数・休養施設数 図2-16 都市公園に設置している遊具・休養施設数合計

施設数	遊具		休養施設	
	公園数 (カ所)	割合 (%)	公園数 (カ所)	割合 (%)
0基	24	17.6	19	14.0
1基	26	19.1	23	16.9
2基	25	18.4	34	25.0
3基	32	23.5	17	12.5
4基	18	13.2	4	2.9
5~6基	8	5.9	19	14.0
7~9基	2	1.5	10	7.4
10基以上	1	0.7	10	7.4
合計	136	-	136	-

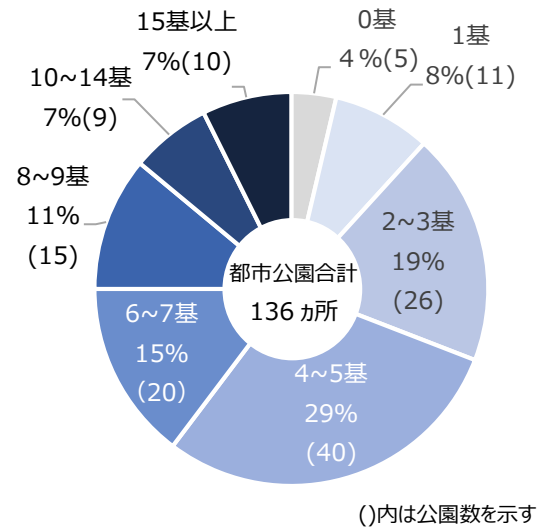
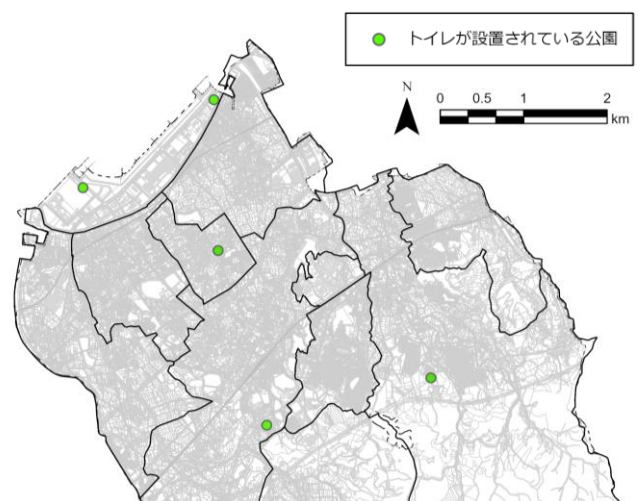


表2-4 公園にトイレが設置されている公園一覧

公園名	設置数 (棟)
泉南りんくう公園	1
俵池公園	1
鳴滝第3公園	1
りんくう南浜公園	1
風の谷公園	1
合計	5

図2-17 公園にトイレが設置されている公園位置図



■ 遊具の配置状況

遊具の配置状況と年少人口の分布は図 2-18 の通りです。

市全体で見ると、遊具が5基以上ある公園はバランス良く配置されています。校区別に見ると、西信達小学校区では中央部は15歳未満の割合が多いにもかかわらず、遊具数が少ない公園が配置されています。さらに一丘小学校では年少人口が多いにもかかわらず、遊具数の少ない公園が配置されています。

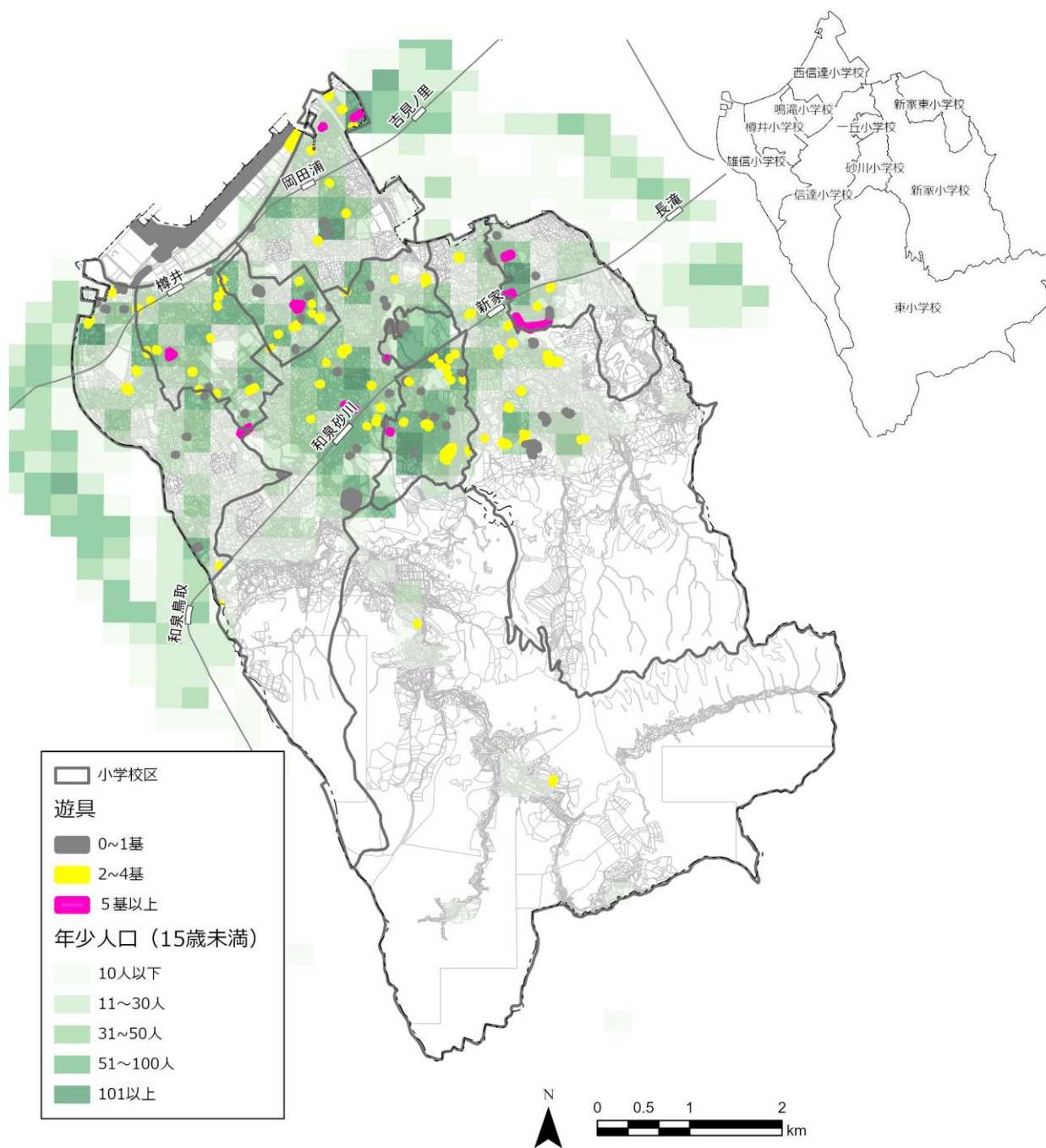


図 2-18 遊具の配置状況と15歳未満の割合

■ 休養施設の配置状況

休養施設の配置状況と65歳以上の人数傾向は図 2-19 の通りです。

一丘小学校区、砂川小学校校区や樽井駅の西部では、高齢者が集中している地区に休養施設が少ない公園が配置されています。

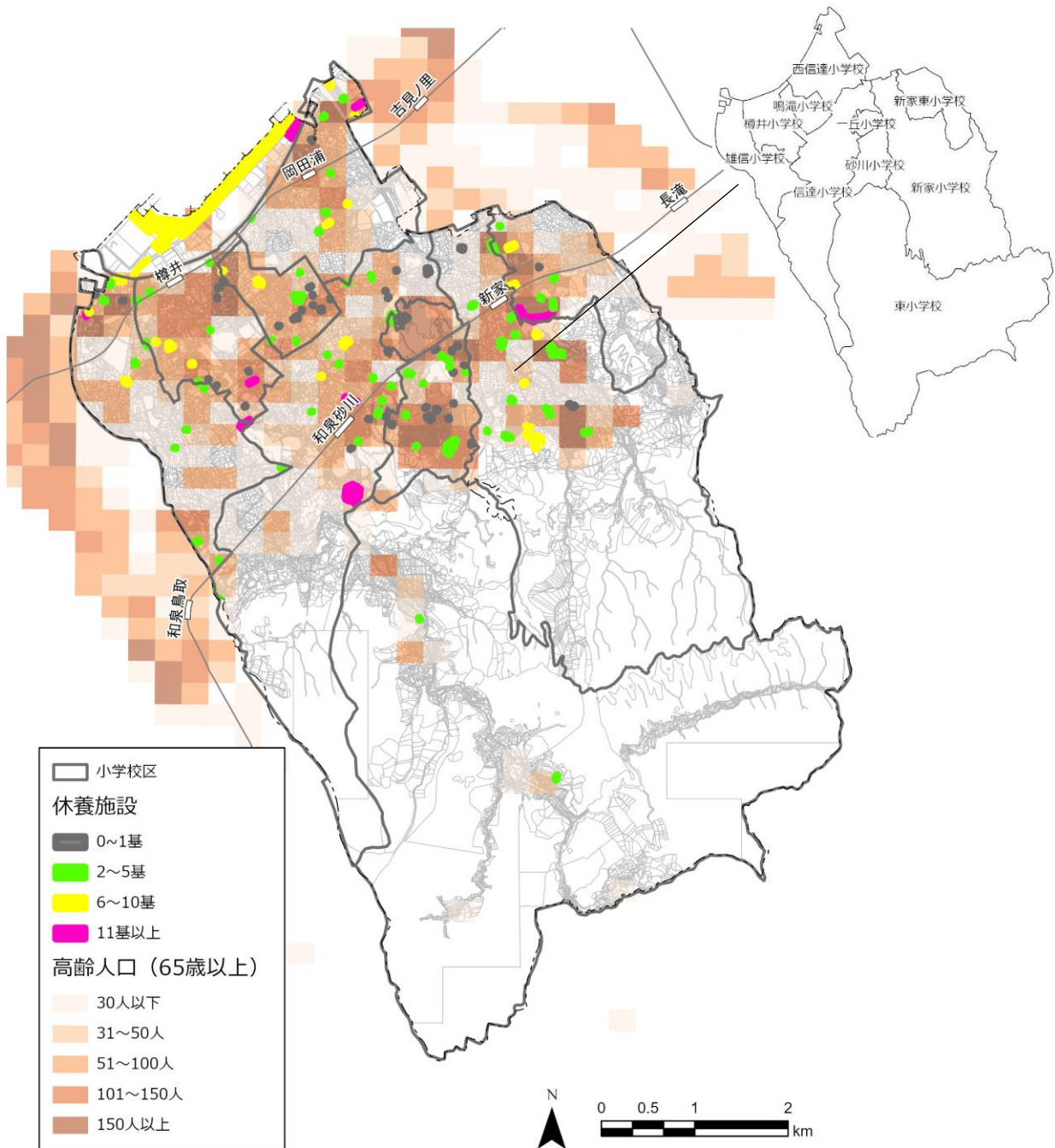


図 2-19 休養施設の配置状況と65歳以上の人数傾向

2-6 利用団体

泉南市の公園では、以下のようなスポーツ団体が活動しています。比較的広いグラウンドがあり、人が集まりやすい場所にある俵池公園は、多くの団体に利用されています。

表 2-5 泉南市の公園で活動している団体一覧

団体名	活動内容	主たる活動公園
グラウンドゴルフ協会	グラウンドゴルフ	俵池公園
泉南市 G・G 愛好会	グラウンドゴルフ	俵池公園
泉南市グランドゴルフ有友会	グラウンドゴルフ	俵池公園
泉南市老人クラブ連合会	グラウンドゴルフ	俵池公園
サンプラザ新家熟年会	グラウンドゴルフ	俵池公園
GG プレイン	グラウンドゴルフ	風の谷公園、 泉南りんくう公園、 俵池公園
新家グラウンドゴルフクラブ	グラウンドゴルフ	風の谷公園、 泉南りんくう公園
砂川奇勝 GG 会	グラウンドゴルフ	俵家公園 、砂川公園
泉南市社会福祉協議会	体操	俵池公園
泉南市サッカー協会 ・泉南 FC	サッカー	俵池公園 、 泉南りんくう公園
泉南市少年軟式野球協会	野球	俵池公園
泉南市ソフトボール協会	ソフトボール	俵池公園

2-7 上位計画での都市公園等の位置づけ・課題

公園に関する上位・関連計画の位置づけ・課題は以下の通りです。

(1) 南部大阪都市計画区域マスタープラン（2020（令和2）年10月）

4. 公園整備の方針

(1) 基本的な考え方広域公園は、「都市の風格を高めるみどりのネットワークの拠点」及び「安全・安心で快適な暮らしを支える重要な都市基盤」、「多様な個性で都市の活力と魅力を高める府民共有の資産」という基本理念に基づき、大阪の活力と魅力を高め、府民の豊かで、安全・安心な生活を支えるとともに、みどりの少ない大阪の貴重な自然環境を保全し、次世代に継承する公園づくりを進めます。長期未着手区域については、必要性や代替性等を考慮し、必要に応じて適宜見直しを進めます。

(2) 公園の特色を活かし育み、都市の顔となる公園づくり

- 憩いの場や交流・スポーツの場、災害時の広域的な一時避難地、市街地における貴重なみどりの拠点等、公園ごとの特色を活かし育み、公園が立地する都市の顔となるよう、公園ごとに施設の整備や、活用・管理の充実等に取り組みます。

(3) 都市の活力・魅力を生み出す公園づくり

- 民間が公園施設の設置を含め、公園全体をマネジメントする PMO（ピーエムオー）型指定管理や、公園の一部を活用して施設の設置・管理を行う Park-PFI（パーク・ピーエフアイ）型施設整備等を導入し、民間の資金やノウハウを活用して、公園の特色や利用者のニーズに合わせたにぎわい施設の設置等、にぎわいづくりに取り組みます。
- 地域の課題に応じた施設を導入するとともに、それらに取り組む NPO やボランティア等と連携し、高齢者の健康増進や子育て世代の交流等、多彩なイベントプログラム等を実施します。

(4) 安全・安心・快適に利用できる公園づくり

- 広域避難場所や後方支援活動拠点に位置付けのある公園について、防災機能を充実させるため、防災公園としての整備を進めます。
- 日頃から公園を地域防災の「自助」「共助」の精神を育む場として、地元市町村とともに防災訓練や防災フェア等を開催し、積極的に活用します。
- 全ての人々が安心して利用できるよう、標識等の多言語化等の推進や施設のバリアフリー化等、ユニバーサルデザインに配慮した整備を進めます。

(5) 都市の環境を保全する公園づくり

- 市街化区域やそれに隣接する区域に立地する公園は、市街地の貴重なみどり空間として、山麓部や臨海部の公園は、周辺の山林や水辺と一体となった美しい景観を形成するみどり空間として、貴重な自然環境を良好に保全できるように適切な維持管理を進めます。
- 生き物の生息・生育環境及び希少種を保護・保全し、生物多様性を確保するため、立ち入り制限や外来種の除去、生き物の生息・生育環境に配慮した施設の整備・管理等を進めます。

(2) 泉南市都市マスタープラン（2015（平成27）年）

第2章 都市づくりの方針

(3) 公園・緑地の方針

1) 基本的考え方（p.41）

- 都市公園やレクリエーション施設等の整備・充実、水と花とみどりのネットワークの形成などにより、みどり豊かな都市づくりを推進します。
- 骨格となる“みどり”の拠点と軸の整備を促進し、にぎわいと交流豊かな都市環境を創出します。
- 公共施設や民有地などにおける緑化を推進するとともに、市民協働により、みどり空間の適切な管理に努めます。

2) 公園緑地の方針（p.41-43 から抜粋）

区分	方針
公園緑地の整備・充実	・市民にうるおいのある都市環境の提供するとともに、健康増進、レクリエーション、景観の形成、防火・避難などの防災空間を創出するため、公園・緑地の整備を推進する。
	・りんくうタウン内のりんくう公園などは、みどりの骨格となる緑地として、サザンスタジアムなどの既存施設も含めた施設や機能の在り方の検討を踏まえ、全ての人が憩い・交流できるにぎわいのある公園整備を図る。
	・本市のシンボルとなる泉南中央公園（総合公園）については、防災機能を有する公園としての整備に努める。
	・本市特有のため池や金熊寺梅林については、自然資源を活かした風致公園等の位置づけを検討する。
公園等の適切な維持・管理	・本市特有のため池や金熊寺梅林については、自然資源を活かした風致公園等の位置づけを検討する。



花咲きファーム



サザンビーチ

(3) 泉南市みどりの基本計画 (2019 (平成 31) 年)

2章 第2節 泉南市のみどりの現状

4. 都市公園等

2) 都市公園の維持管理 (p.10)

公園の維持管理に関して、地域が関わっています。

団体名	活動内容
各区 自治会等	公園とちびっこ広場の管理委託契約を行っています。 (2018 (平成 30) 年現在 81 公園)
シルバー人材センター	公園等の樹木 (主に桜) の消毒や除草の委託を行っています。

3章 みどりの課題 (p.25)

■ 本市を代表する公園の整備

「(仮称) 泉南市営りんくう公園」は、本市のレクリエーション拠点としての整備が計画されています。都市計画決定がなされている泉南中央公園とともに、本市を代表する公園としての整備が求められます。

■ 身近な公園緑地の適正配置

公園緑地は、誰もが日常的に利用する場所であり、コミュニティの場としても重要ですが、現在の市民一人当たり都市公園面積は約 4.4 m²/人で、全国平均と比べても低い水準です。

一方で、本市の人口は平成 17 年 (2005 年) をピークに減少に転じており、今後もその傾向は続くことが予測されていることから、今後の人口動向や地域ニーズをふまえた公園緑地の適正配置が必要です。

■ 既存公園の適切なマネジメント

本市には、153 箇所の都市公園等が設置されていますが、これらの中には供用から年月を経たものも少なく、ライフサイクルコストを意識した適切なマネジメントが求められます。

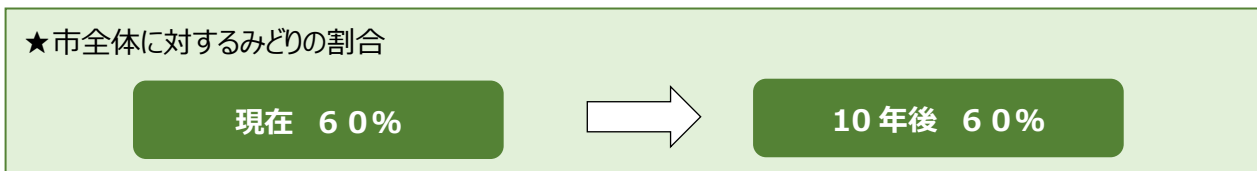
4章 第3節 みどりの目標

2. みどりの目標 (p.30)

みどりの将来像の実現に向け、「いまある‘みどり’をまもる」「あらたな‘みどり’をつくり、いかす」「みんなで‘みどり’をそだてる」の基本方針に対応した、みどりの量や質を表す目標を以下のように設定します。

●「いまある‘みどり’をまもる」目標

将来的にも、現在と同じみどりの量を維持することを目標とします。



●「あらたな‘みどり’をつくり、いかす」目標

今後の人口動向をふまえて、一人当たりの都市公園の面積 8 m²/人以上を確保することを目標とします。

(都市公園等は 12 m²/人以上)

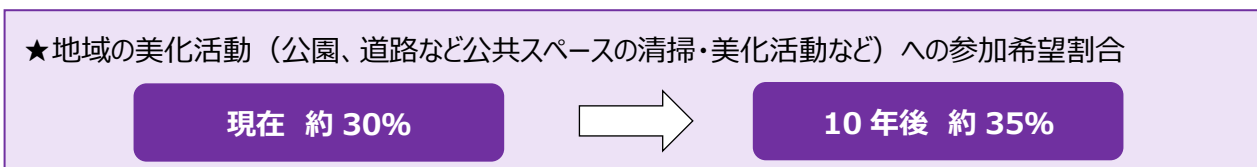
また、公園・緑地整備に対する満足度の向上を目標とします。



※「第5次泉南市総合計画にかかる市民意識調査（2010（平成22）年より）」

●「みんなで‘みどり’をそだてる」目標

地域の美化活動への参加希望割合を高めることを目標とします。



※「泉南市まち・ひと・しごと創生総合戦略にかかる市民意識調査（2015（平成27）年）より」

5章 第2節 みどりの施策

2. あらたな'みどり'をつくり、いかすための施策 (p.34-35)

本市の拠点となる公園の整備

「(仮称) 泉南市営りんくう公園」を、本市のレクリエーション拠点として整備します。整備にあたっては PFI 法に基づき、民間の資金、企画力、経営能力及び技術的能力を最大限活用した事業スキームにより、魅力ある都市公園の運営の実現を目指すとともに、あわせて、近年増加傾向にあるインバウンド観光への対応強化も図ります。また、本公園を一層魅力的な公園にするため、本公園内の PFI 事業対象区域外において、民間活力によるグラウンド・ゴルフ場を整備します。



(仮称) 泉南市営りんくう公園平面図 (PFI 事業対象区域) とイメージ図



※実際のものとは異なる場合があります

長期未着手の泉南中央公園予定地については、整備検討を進めるとともに、その整備には長期間要する可能性があることから、公共性が高く、みどりの機能を備える民間活力を視野に入れた暫定利用も検討します。

農業公園の利用促進

泉南市農業公園「花咲きファーム」は、自然とふれあうことのできる本市の拠点となる公園です。今後も身近に感じられる農業の PR や環境学習、自然レクリエーションの場として活用し、さらなる利用促進を図ります。



泉南市農業公園「花咲きファーム」



農業公園での花苗植え

身近な公園緑地の適正配置

身近な公園緑地については、今後の人口動向や地域の実情をふまえて、市域全体での公園の適正配置を図ります。

公園の適切な維持管理

既存の公園に関しては、従来の対処的な維持管理から予防保全的な維持管理へ転換を図るために公園施設長寿命化計画を策定し、公園施設の安全性の確保、コストの縮減、平準化を図る維持補修を進めます。また、樹木や公園施設等の点検や清掃活動、花壇管理等を、地域と一体となって取組みます。

公園の再編、再生

少子高齢化や人口減少などに対応するために、健康増進や子育てしやすい環境づくりに配慮した公園機能や配置の再編・再生に取組みます。公園の再編と再生にあたっては、子どもから高齢者までの幅広い世代に愛され、地域コミュニティの要となるよう、新たな魅力づくりや活用に取組みます。



あがら新家フェスタ



あがら新家フェスタ

人に優しく安心安全な公園づくり

地震等の災害時における都市公園の防災機能を強化するために、公園の外周部では火災の延焼防止に役立つ緑化に努めます。また、既に開設している公園も含めて段差解消などに取組み、人にやさしい公園づくりを推進します。

生き物に優しい公園づくり

2008（平成 18）年に生物多様性基本法が制定され、都市における緑地の保全・再生・創出・管理など、生物多様性の確保に向けた取組が重要であると認識されましたが、公園のみどりは、その重要な拠点となります。

本市においても、「（仮称）泉南市営りんくう公園」内の PFI 事業やグラウンド・ゴルフ場整備事業の対象区域外に、ビオトープの整備を予定しており、今後も生き物の生息環境に配慮した公園づくりに努めます。

協働で取組む公園づくり

新たな公園の整備や既存公園のリニューアルにあたっては、P-PFI 等の官民連携手法を活用し、ワークショップ等の手法をも取り入れた市民参加による公園づくりに取組みます。

(4) 泉南市公共施設等最適化推進基本計画（総合管理計画）

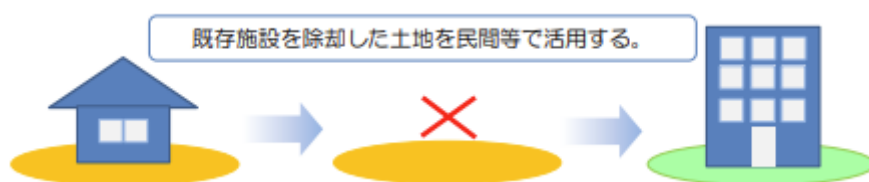
(2016年（平成28）年3月（令和4年2月一部追記）)

第5章公共建築物最適化の手法

1 最適化手法の種類について

(2) 再編実施手法

- ⑫ 跡地活用跡地活用は、施設の統廃合等によって既存施設が除却されるなどして発生した跡地に新たな機能を導入して活用する手法です。これには、民間活用や売却も含まれます。今後、施設の統廃合が進むなかで行政目的を有しなくなった公有地が発生することが考えられます。既存施設の用途廃止の可能性が浮上した場合には、必ず跡地の利活用と併せて検討し、暫定的な利用も含めて未利用の公共施設が長期に亘って放置されることのないよう取り組みます。



第6章公共施設等再編の方向性

1 施設類型ごとの基本的な考え方

(8) 公営住宅、公園、その他

ウ 農業公園及び公園内に設置された管理棟など〔統廃合・民間活用（民営化）〕

- ・民間活用の可能性について、検討します。
- ・都市公園全体のあり方について、検討を継続します。
- ・りんくう南浜2号公園にある管理棟については、市営都市公園（仮称）りんくう公園開設に伴い、民間活力も活用し一体的な都市公園の管理を検討します。

(5) 泉南市公共施設等最適化推進実施計画（2017（平成 29）年）

「泉南市公共施設等の利用に関するアンケート調査（概要）」より

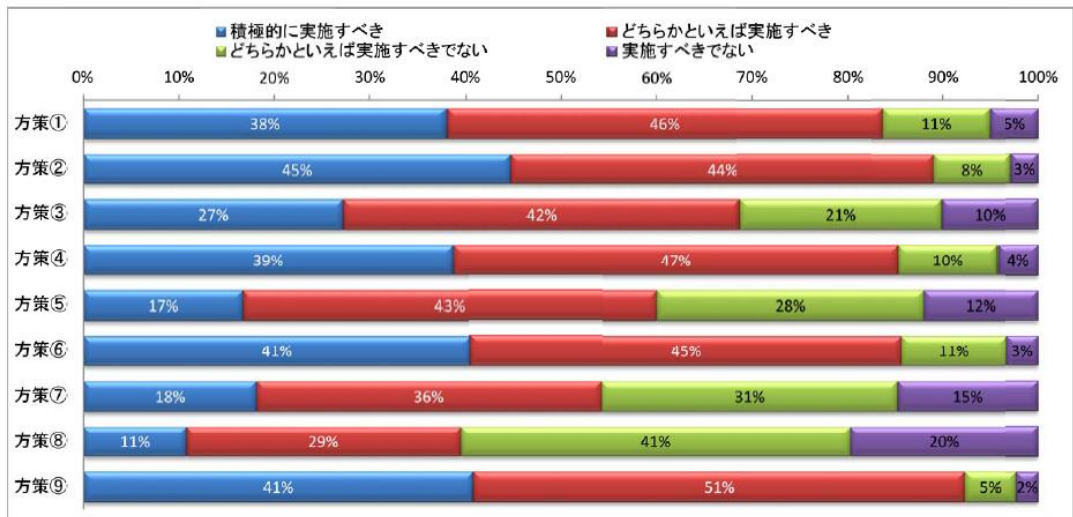
泉南市の将来像（インフラの今後のあり方）について
 【公共建築物の最適化に向けての取り組みに関する意見】

公共建築物の最適化を進めていくにあたっての方策についてあなたはどのように思いますか？

公共建物の最適化を進めていくに際し、複合化（方策①）、集約化（方策②）、近隣自治体との共同利用（方策③）、施設等の売却（方策⑥）、長寿命化（方策⑨）など創意工夫や効率化などのマネジメントについては、「積極的に実施すべき」、「どちらかといえば実施すべき」が意見の1位、2位を占めており、市に対する高い期待が伺えます。

一方で、施設利用料金の引き上げ（方策⑧）については、「どちらかといえば実施すべきでない」と回答した人が41%と最も高く、一定の理解は示しつつも自らの負担については慎重な意見であることが伺えます。

図表Ⅲ.7



- 方策① 現在ある施設の状況を見極めた上で、異なる機能を付加して機能の複合化を図り、利用する方の利便性を向上させる。
- 方策② 現在ある施設の状況を見極めた上で、周辺に類似する機能を1施設に集約化することで施設維持管理経費を削減する。
- 方策③ 近隣自治体と共同で施設を建設・運営する。
- 方策④ 施設の建替えや管理運営に民間のノウハウや資金を活用し施設運営負担を軽減する。
- 方策⑤ 地域に密着する施設の管理運営をコミュニティ（地域住民等）に任せる。
- 方策⑥ 施設の一部や土地の売却・貸付によって収入を得る。
- 方策⑦ 民間が保有する施設（会議室やホール、スポーツ施設等）を市が借り上げるなど公共施設として使用する。
- 方策⑧ 施設利用料金を引き上げ、施設の維持管理費用に充てる。
- 方策⑨ 補修箇所は早い段階で対応するなど予防保全に努め、施設の長寿命化を図り、将来的維持管理更新経費を削減する。

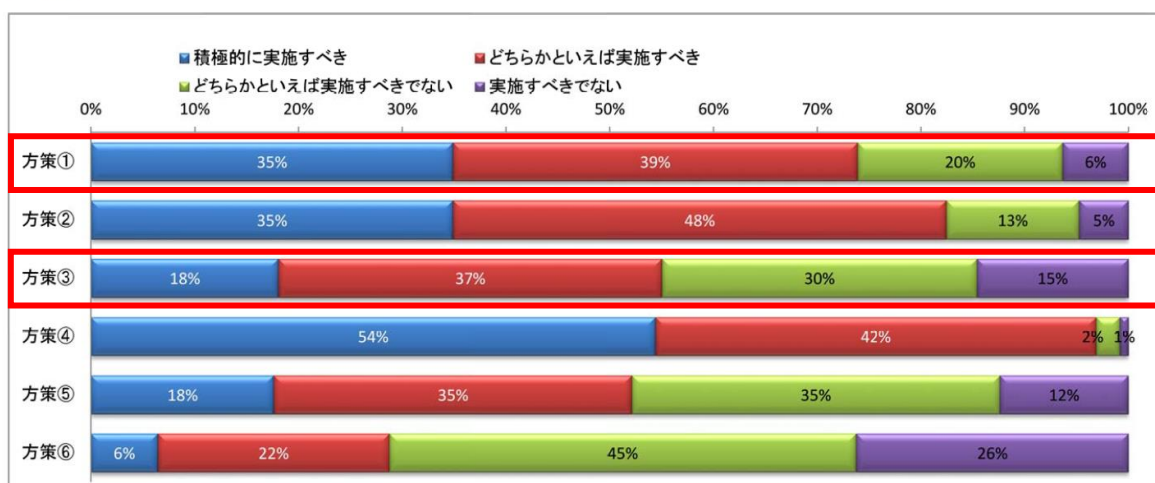
■泉南市の将来像（インフラの今後のあり方）について
【インフラの今後のあり方に関する意見】

インフラ（道路・橋梁・公園・上下水道など）について将来にわたって安全な状態で提供し続けるための方策についてあなたはどのように思いますか？

インフラを将来にわたって安全な状態で提供し続けるための方策についても、公共建築物と同様に、公園等の総量の抑制（方策①）、民間の資金やノウハウの活用（方策②）、長寿命化（方策④）など創意工夫や効率化を始めとするマネジメントについては、「積極的に実施すべき」、「どちらかといえば実施すべき」が意見の1位、2位を占めています。

一方で、使用料金の引き上げ（方策⑤）や改修費等の特別徴収（方策⑥）については、「どちらかといえば実施すべきではない」の意見が最も多く、自らの負担については公共建築物と同様に慎重な意見であることが伺えます。

図表Ⅲ.8



- 方策① 既存の公園や歩道橋等の必要性等を精査することで数を減らし、維持管理経費を軽減する。
- 方策② 道路、下水道などの更新や管理に、民間のノウハウや資金を活用する。
- 方策③ 地域活動に密着した小規模な道路や公園は、地域住民等が維持管理を行う。
- 方策④ 道路や橋梁などの施設は、定期的に点検し予防保全に努め、長寿命化を図り、将来的維持管理更新経費を節減する。
- 方策⑤ 使用料等を徴収できる施設は、引き上げることで施設の維持管理経費に充てる。
- 方策⑥ 道路や橋梁などのインフラ施設の改修等は、特別徴収を実施し、市民全体で負担する。

「泉南市公共施設等最適化推進実施計画」 本編より

第4章 第1期実施計画の推進			
2. 施設別 第1期実施計画			
対象施設	農業公園		担当課 産業観光課
実施内容	・民間活用による管理・運営を検討、実施する。		
実施スケジュール	前期	中期	後期
ルール	・公園の活用について、地元・民間事業者と検討する。	・検討結果を実施する。	
対象施設	俵池公園、りんくう南浜公園		担当課 住宅公園課
実施内容	・民間活用による管理・運営を検討、実施する。		
実施スケジュール	前期	中期	後期
ルール	・指定管理又はPFIによる民間活力の導入可能性を検討する。	・検討結果を実施する。	

3 公園のニーズ把握

3-1 市民アンケート

市立公園に対する市民意識の把握のため、次の通りアンケート調査を行いました。

(1) 市民アンケート調査概要

① 調査概要

- ・ 調査対象者 : 市民…2,000 人市内に在住している 18 歳以上の市民から無作為抽出。
- ・ 調査方法 : 調査票による本人記入方式、郵送配布・郵送回収及び WEB 回答
- ・ 調査実施時期 : 2023 (令和 4) 年 9 月

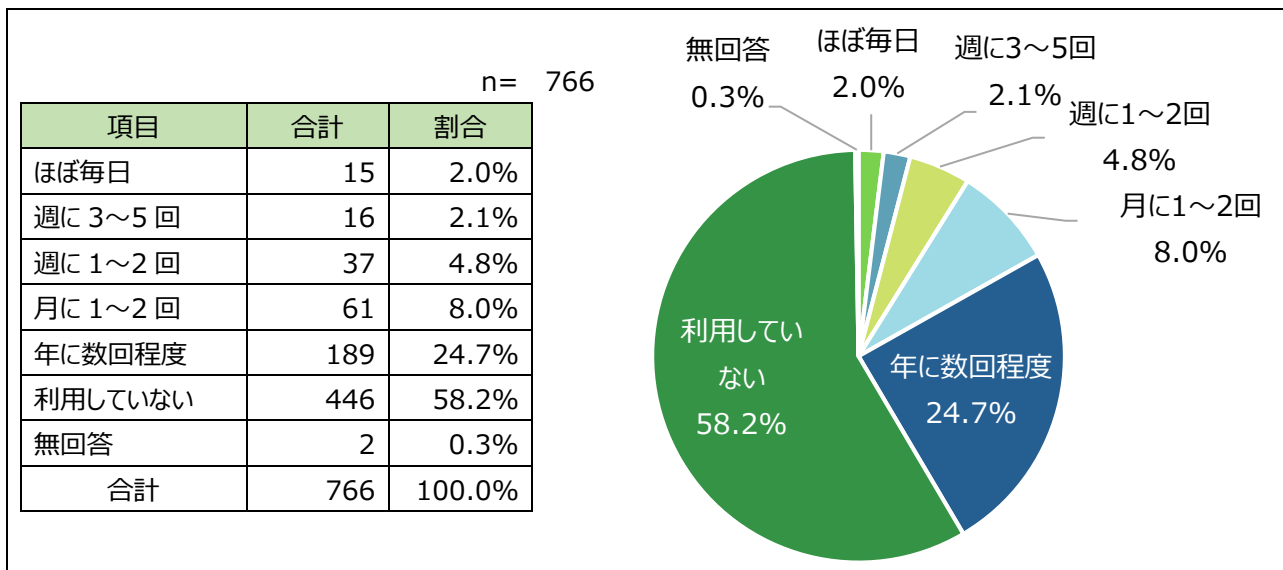
② 回収結果 () 内は Web 回答)

配布数 (A)	有効回収数 (B)	有効回収率 (B/A)
2000	766 (193)	38.3%

(2) 市民アンケート結果

① 公園の利用頻度

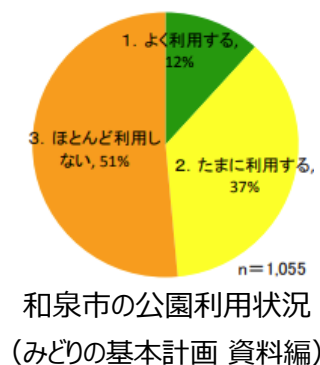
週に 1 回以上通っている人の割合は 1 割未満と少ないものの、公園を日常的に使用している人がいることがうかがえます。その一方で、「公園を利用していない」と回答した人が半数以上を占めており、「年に数回程度」と合わせると 8 割以上となるため、今後は利用者を増やしていくための施策が必要となります。



参考事例：他自治体との比較（和泉市）

泉南市の近隣で同様のアンケートを行っていた和泉市の公園利用状況と比較した時、「利用していない」と回答した人の割合が泉南市の方が高いことが分かります。

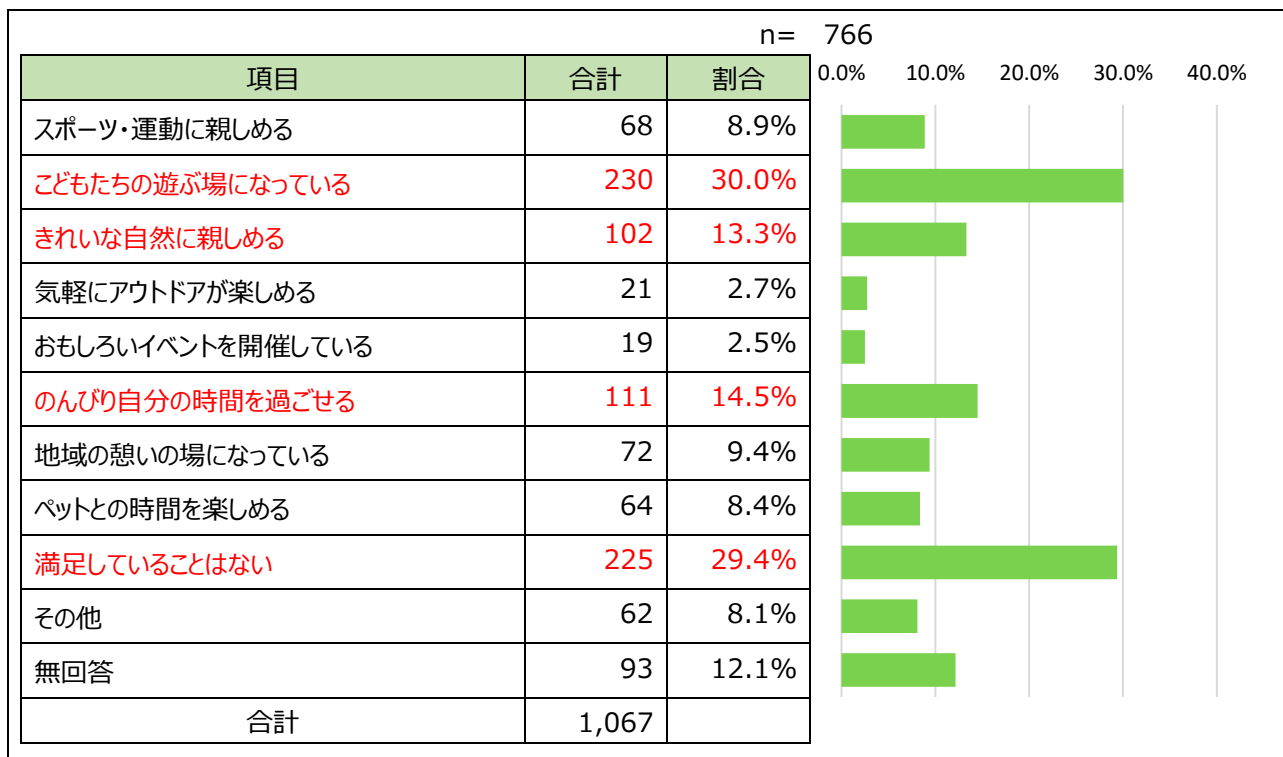
また、「よく利用する」と回答した人の割合も、泉南市は 1 割未満でしたが、和泉市は 1 割を超えるなど、泉南市は公園をよく利用している人の割合が他自治体と比べ低いことが伺えます。



② 公園について満足なこと（3つまで選択）

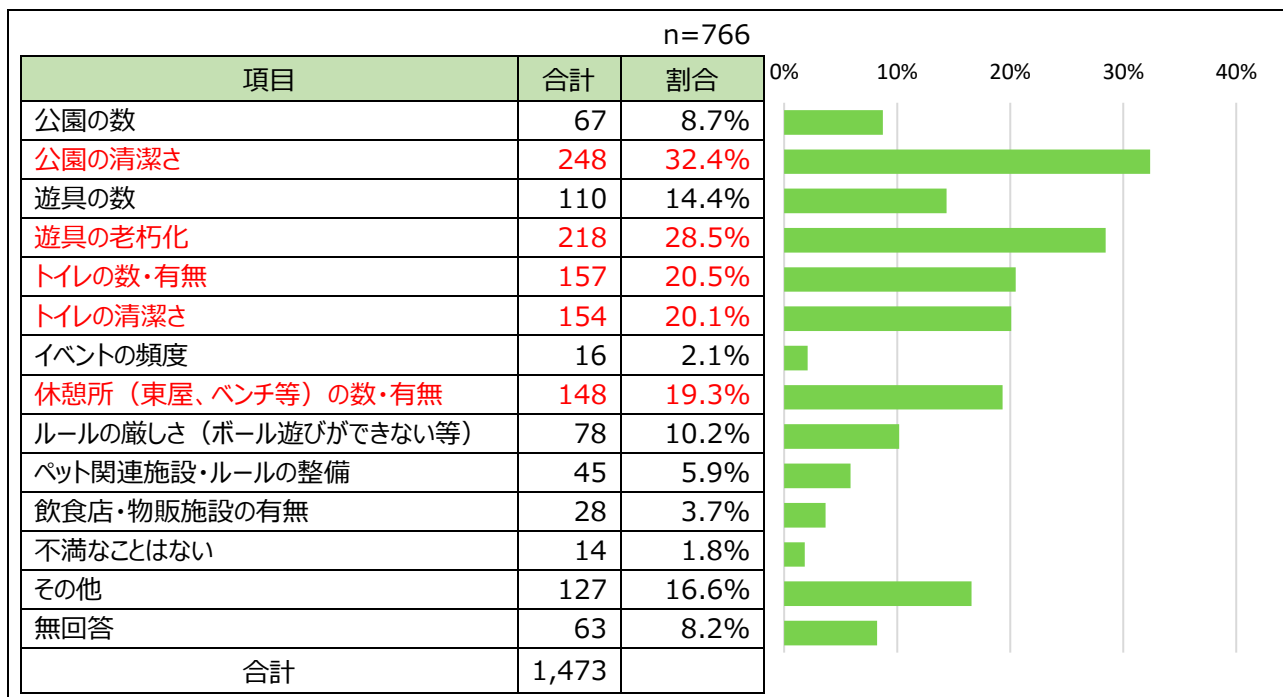
「子どもたちの遊び場になっていること」や「のんびり自分の時間を過ごせること」、「きれいな自然に親しめること」が満足していることとして挙げられ、使用者はそれぞれ自由に公園を楽しんでいることがうかがえます。

しかし、「満足していることはない」と回答した利用者も多く、利用者の満足度を上げる施策が必要です。



③ 公園について不満なこと（3つまで選択可）

公園の清潔さが一番に挙げられ、公園内の草刈や清掃に課題があることがうかがえます。遊具の老朽化についても多く票が入っており、遊具の老朽化対策の推進が急がれます。また、休憩所やトイレの数についても一定の票が入っており、地域の状況に合わせた公園施設の設置が必要です。



④ 現在最も利用している公園（1～3位を回答）

市民がよく利用している公園として、比較的面積が大きい公園に票が集まりました。特に票が多かったりんくう南浜公園、農業公園「花咲きファーム」、俵池公園については今後も積極的な利活用を推進することで、地域の活性化に寄与することが期待されます。

n=318			
順位	公園名	面積 (㎡)	合計 (3位まで含めた記入数)
1	りんくう南浜公園	14,930	80
2	農業公園「花咲きファーム」	100,000	48
3	俵池公園	22,957	38
4	新家楠台1号公園	2,535	22
5	牧野公園	2,526	21
6	樽井公園	2,884	18
7	新家公園	11,903	15
8	泉南りんくう公園(テニスコートのみ)	-	15
9	砂川公園	10,675	12
10	砂川第二公園	1,982	12
11	男里公園	3,464	11

※10票以上回答があった公園を記載
太字：近隣公園

⑤ 公園をより魅力的にするためにあったらよいと思うイベント

(一番利用すると答えた公園に対して3つまで回答可)

今のままで良いと考えている人が半数近くに登ったほか、キッチンカー等の飲食イベントやマルシェ・フリーマーケット等の物販イベントにも一定のニーズがうかがえます。

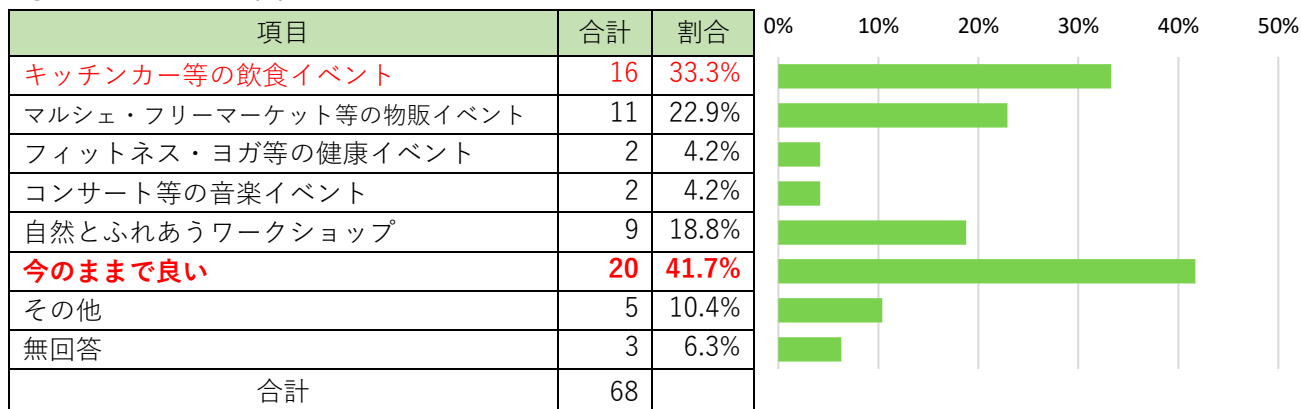
			n= 318			
項目	合計	割合	0%	20%	40%	60%
キッチンカー等の飲食イベント	64	20.0%				
マルシェ・フリーマーケット等の物販イベント	61	19.1%				
フィットネス・ヨガ等の健康イベント	17	5.3%				
コンサート等の音楽イベント	18	5.6%				
自然とふれあうワークショップ	33	10.3%				
今のままで良い	159	49.7%				
その他	52	16.3%				
無回答	22	6.9%				
合計	426					

※問 05 にて「利用していない」以外を選択した方が対象

さらに④の「よく利用する公園」で票数が多かった3公園について、公園別にイベントについてニーズを確認すると以下ようになります。りんくう南浜公園と俵池公園は「今のままで良い」が最も多く、対して農業公園は飲食や物販などのイベントが最も多くなりました。

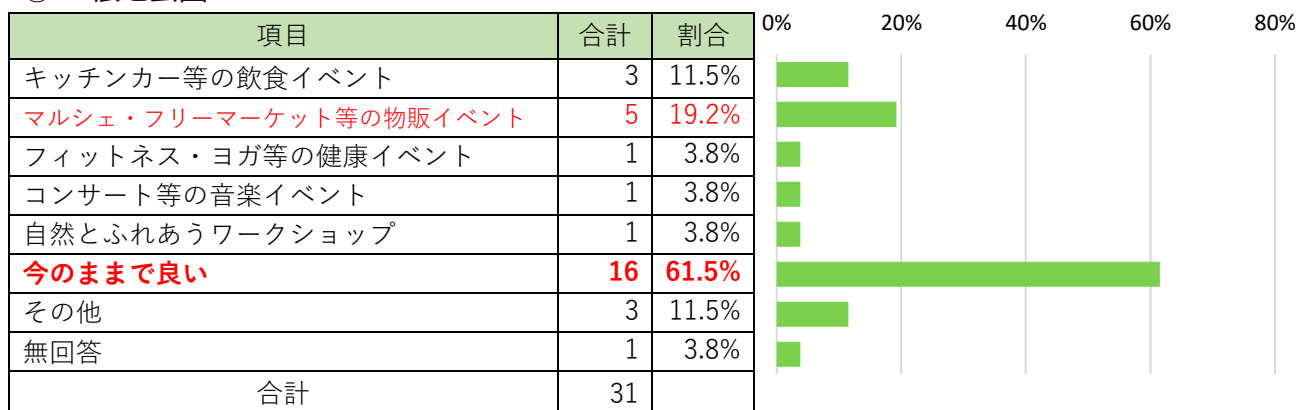
⑤-1 りんくう南浜公園

n= 48



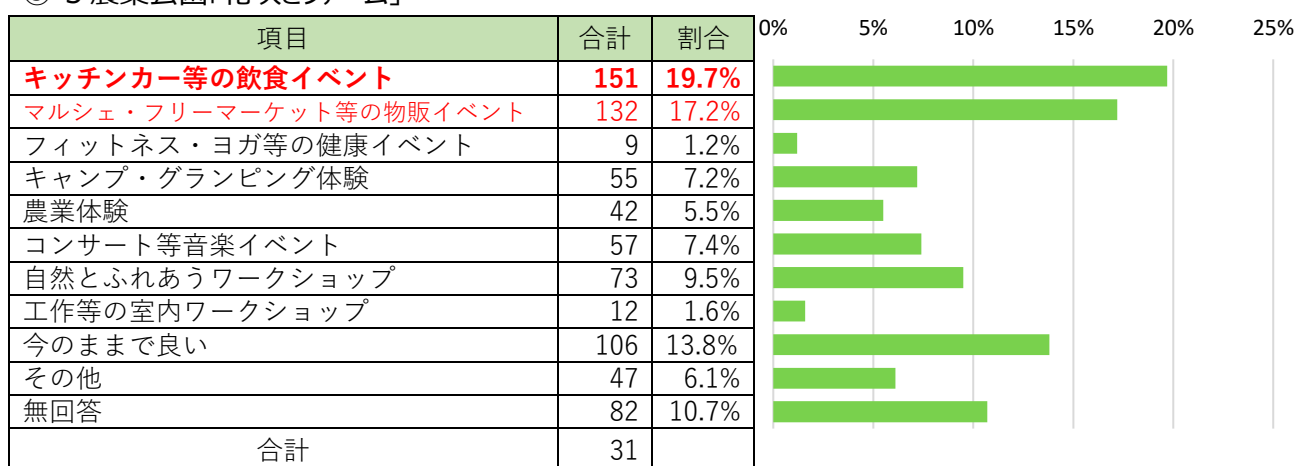
⑤-2 俵池公園

n= 26



⑤-3 農業公園「花咲きファーム」

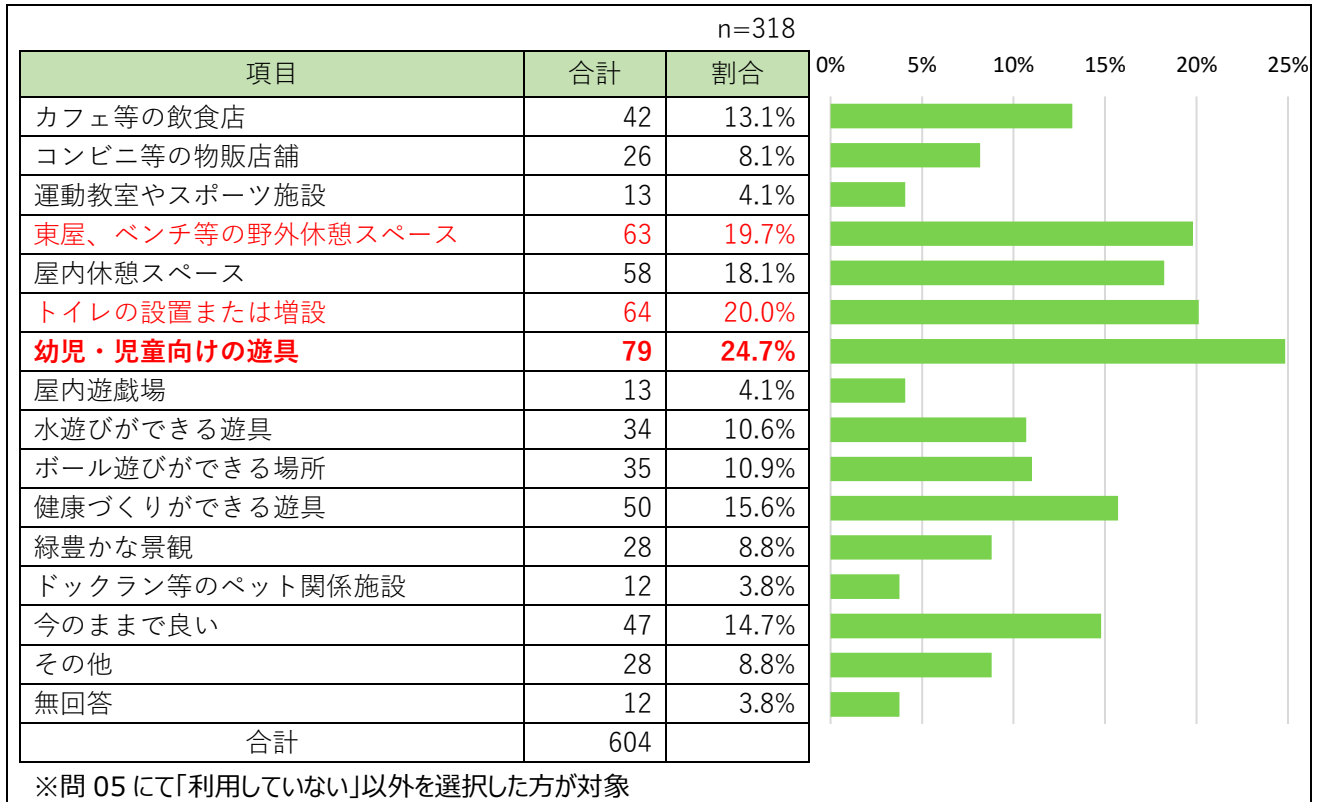
n= 766



⑥ 公園をより魅力的にするためにあったらよいと思う施設（一番利用すると答えた公園に対して）

③の不満な点として遊具の老朽化が挙がっていたことから、幼児・児童向け遊具に多く票が入っています。

同様に不満な点として休憩施設の数もあげられていたことから、東屋やベンチ等、屋内施設、等の休憩施設が必要と感じている人が多く、またトイレの設置へのニーズも大きくなっています。

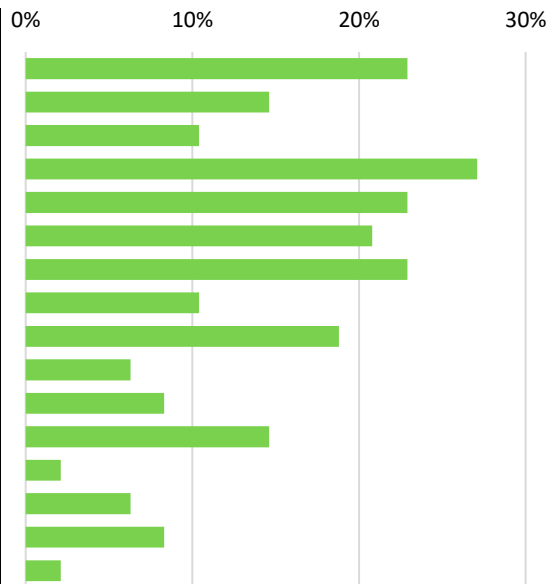


さらに④の「よく利用する公園」で票数が多かった3公園について、公園別に施設ニーズを確認すると以下のようになります。りんくう南浜公園は、休憩スペースや飲食施設、幼児向けの遊具に票が入っていました。また俵池公園は、同じく休憩スペースや幼児向けの遊具に票が入っていたほか、健康づくりができる遊具にも多くの票が入りました。一方、農業公園については、飲食施設のニーズが大きくなっています。

⑥-1 りんくう南浜公園

n= 48

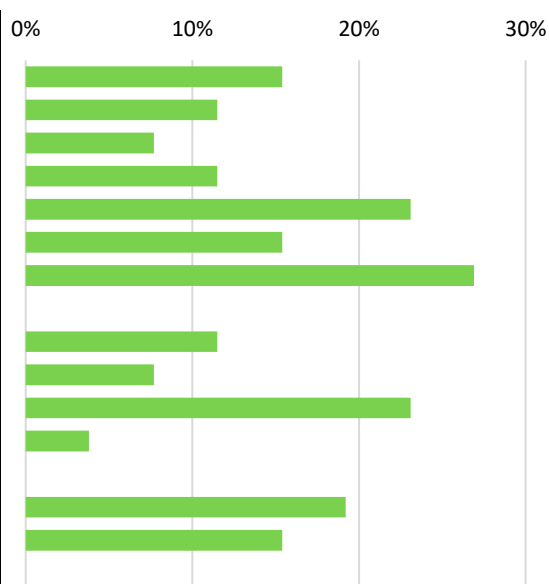
項目	合計	割合
カフェ等の飲食店	11	22.9%
コンビニ等の物販店舗	7	14.6%
運動教室やスポーツ施設	5	10.4%
東屋、ベンチ等の野外休憩スペース	13	27.1%
屋内休憩スペース	11	22.9%
トイレの設置または増設	10	20.8%
幼児・児童向けの遊具	11	22.9%
屋内遊戯場	5	10.4%
水遊びができる遊具	9	18.8%
ボール遊びができる場所	3	6.3%
健康づくりができる遊具	4	8.3%
緑豊かな景観	7	14.6%
ドックラン等のペット関係施設	1	2.1%
今のままで良い	3	6.3%
その他	4	8.3%
無回答	1	2.1%
合計	105	



⑥-2 俵池公園

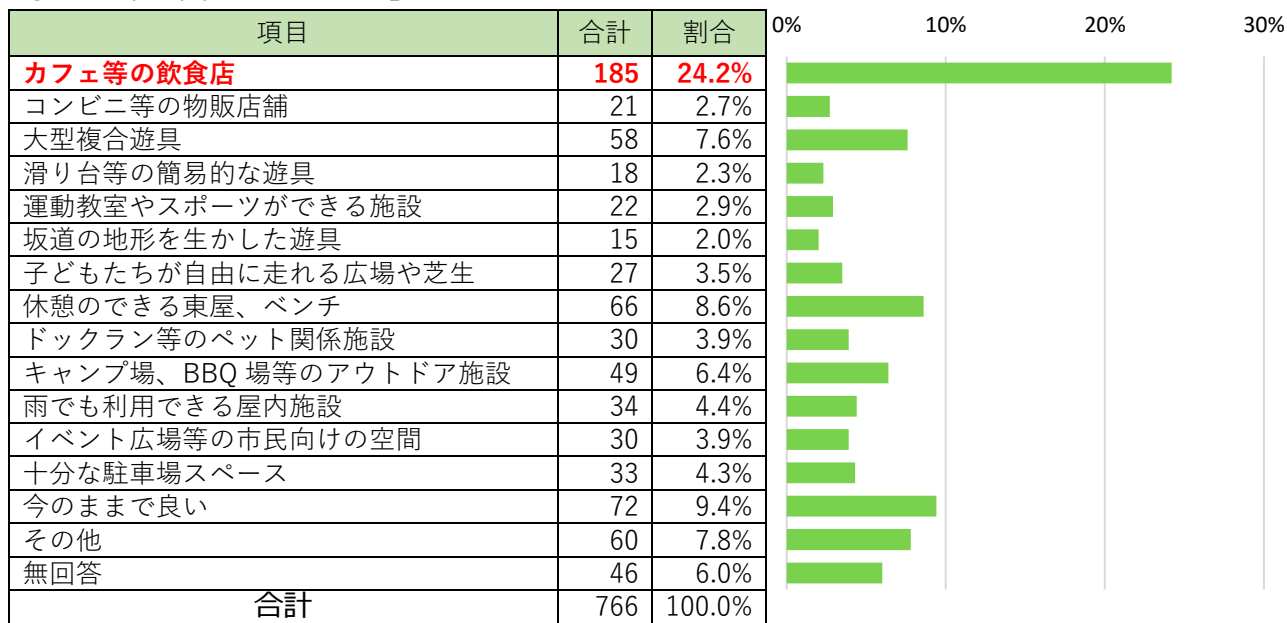
n= 26

項目	合計	割合
カフェ等の飲食店	4	15.4%
コンビニ等の物販店舗	3	11.5%
運動教室やスポーツ施設	2	7.7%
東屋、ベンチ等の野外休憩スペース	3	11.5%
屋内休憩スペース	6	23.1%
トイレの設置または増設	4	15.4%
幼児・児童向けの遊具	7	26.9%
屋内遊戯場	0	0.0%
水遊びができる遊具	3	11.5%
ボール遊びができる場所	2	7.7%
健康づくりができる遊具	6	23.1%
緑豊かな景観	1	3.8%
ドックラン等のペット関係施設	0	0.0%
今のままで良い	5	19.2%
その他	4	15.4%
無回答	0	0.0%
合計	50	



⑥-3 農業公園「花咲きファーム」

n= 766



(3) 結果まとめ

- 公園を利用していない人が半数以上となっています。
- 市民が公園に対して満足している点としては「こどもたちの遊び場になっていること」などが多かったが、「満足していることはない」も同程度に多く、特に公園の清潔さや遊具の老朽化など公園施設の整備・維持管理に対する不満を抱いています
- よく利用する公園として特に多かったのはりんくう南浜公園、農業公園「花咲きファーム」、俵池公園の3公園です。
- 現状、公園でのイベント開催に対する市民のニーズは低く、休憩施設や遊具、トイレの整備・拡充を求められています。

3-2 小学生アンケート

(1) 小学生アンケート調査概要

① 調査概要

- ・調査対象者 : 市内の小学校に在籍している小学5年生…485人
- ・調査方法 : 調査票による本人記入方式 (WEB 回答)
- ・調査実施時期 : 2023 (令和4) 年 10 月

② 回収結果 () 内は Web 回答)

配布数 (A)	有効回収数 (B)	有効回収率 (B/A)
485	220	45.5%

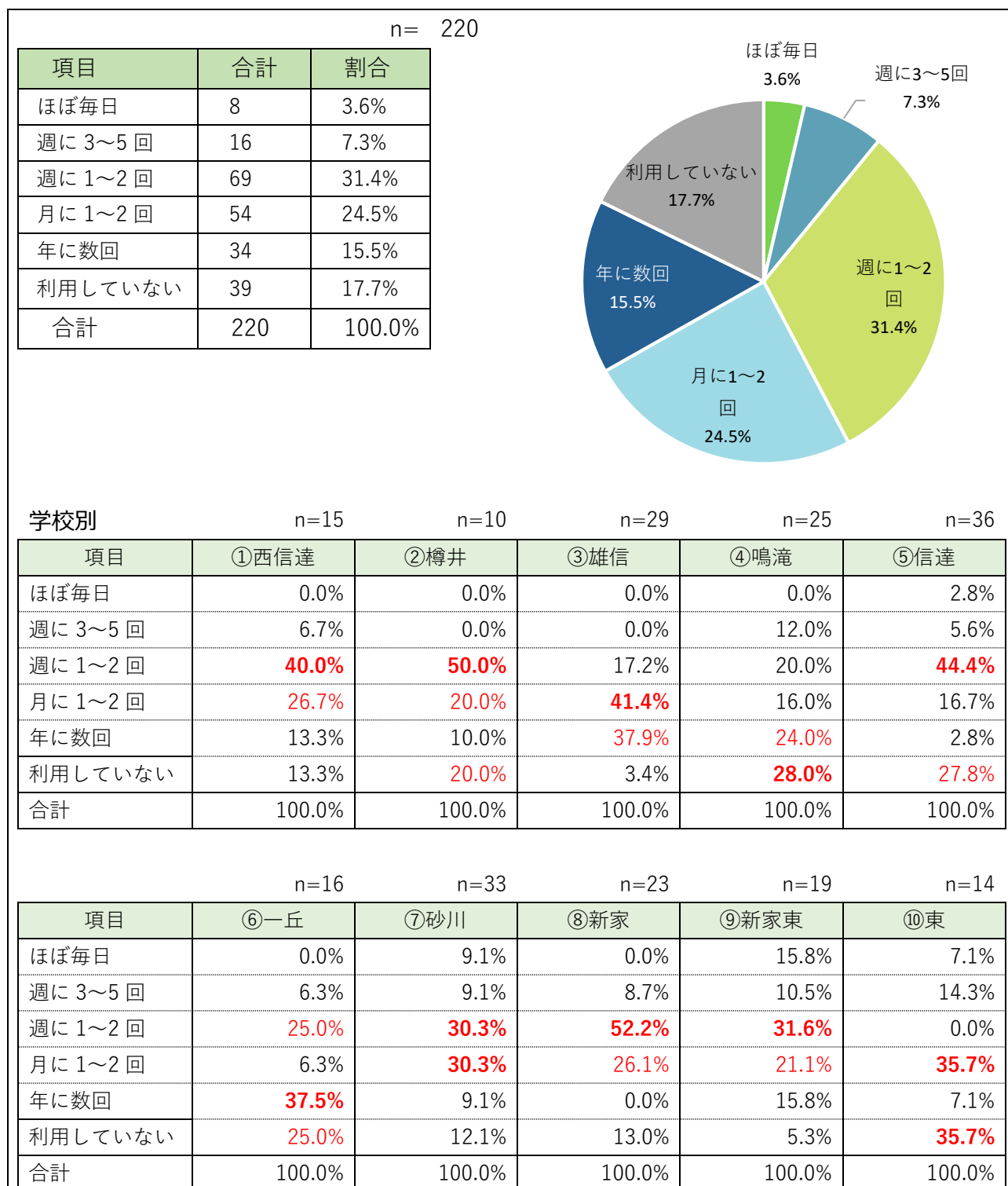
(2) 小学生アンケート結果

① 公園の利用を使用しているか。どのくらいの頻度か。

普段公園を利用しない生徒（「公園を利用していない」、「年に数回程度」）が3割以上となりました。

雄信小学校と鳴滝小学校、一丘小学校、東小学校は普段公園を利用しない生徒が4割以上となっており、今後の利用促進が課題です。

対して信達小学校、新家小学校、新家東小学校は、週に1回以上と回答した人が半数を超えており、公園の利用頻度が高いことがわかります。



② 今ある公園またはよく行く公園について、「もっとこうして欲しい」と思うことはありますか。

トイレの設置や増設と答えた生徒が最も多く、また遊具・清掃についての意見が上位に挙がりました。学校別で見ると、特に信達小学校、砂川小学校、新家東小学校でトイレの設置や増設が支持されています。そのほかにも雄信小学校では遊具を新しくしてほしいという意見が上位に挙がり、鳴滝小学校では公園をきれいにしてほしいという項目が上位に来るなど、今後は各地域の現状と課題に沿った施策が必要ながうかがえます。

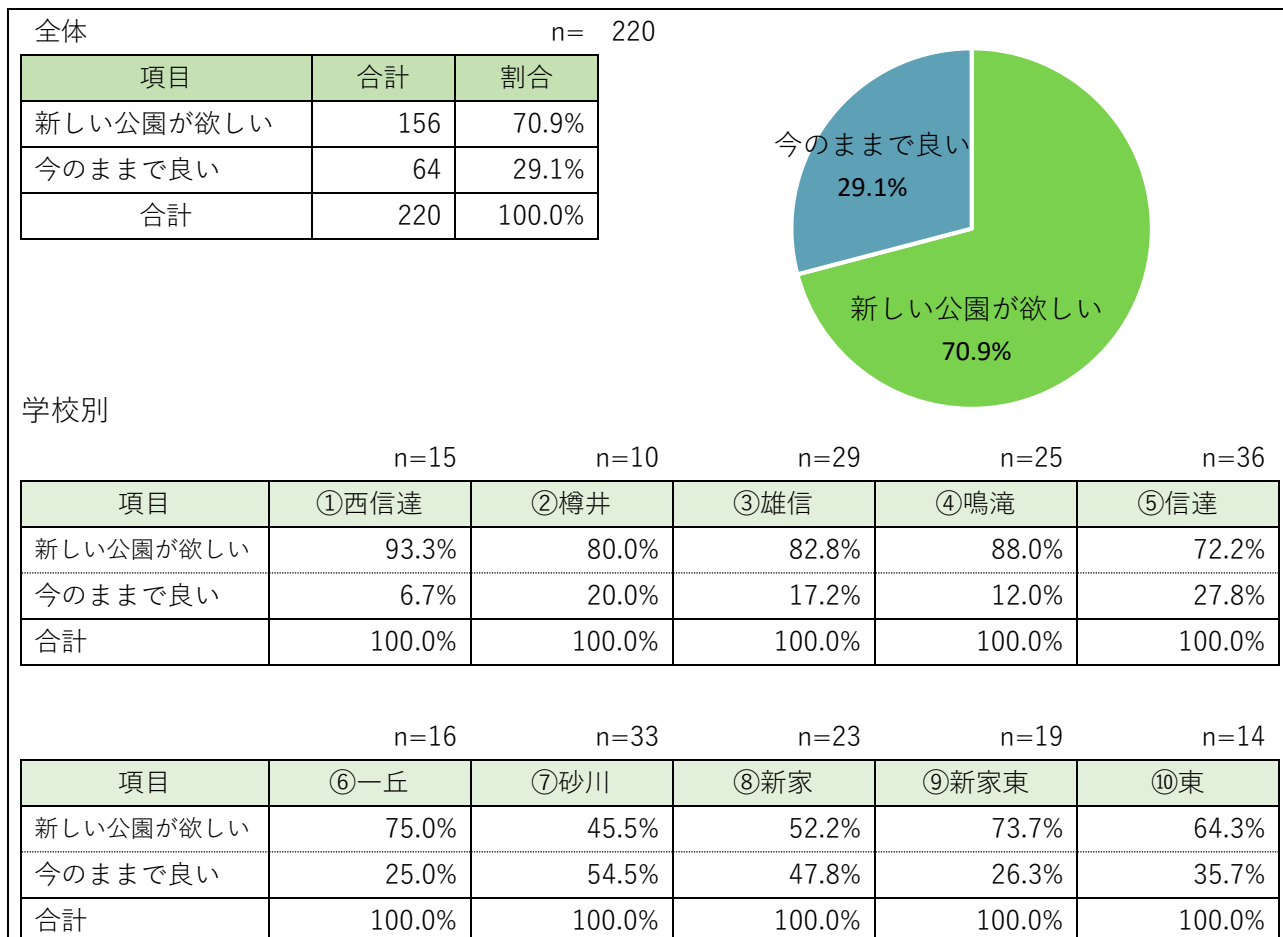
全体			n= 220			
項目	合計	割合	0%	20%	40%	60%
ボール遊びができるようにしてほしい	63	28.6%				
きれいにしてほしい（ゴミ、雑草など）	102	46.4%				
遊具を新しくしてほしい	112	50.9%				
トイレがほしい・きれいにしてほしい	130	59.1%				
休憩できるところを増やしてほしい	41	18.6%				
ドッグラン	13	5.9%				
お花が欲しい	16	7.3%				
その他	35	15.9%				
合計	512					

学校別	n=15	n=10	n=29	n=25	n=36
項目	①西信達	②樽井	③雄信	④鳴滝	⑤信達
ボール遊びができるようにしてほしい	40.0%	60.0%	24.1%	12.0%	25.0%
きれいにしてほしい（ゴミ、雑草など）	53.3%	20.0%	44.8%	72.0%	55.6%
遊具を新しくしてほしい	33.3%	50.0%	75.9%	44.0%	52.8%
トイレがほしい・きれいにしてほしい	66.7%	50.0%	51.7%	56.0%	72.2%
休憩できるところを増やしてほしい	13.3%	20.0%	17.2%	32.0%	25.0%
ドッグラン	6.7%	10.0%	6.9%	0.0%	5.6%
お花が欲しい	0.0%	0.0%	6.9%	16.0%	5.6%
その他	13.3%	20.0%	13.8%	4.0%	13.9%

項目	n=16	n=33	n=23	n=19	n=14
項目	⑥一丘	⑦砂川	⑧新家	⑨新家東	⑩東
ボール遊びができるようにしてほしい	18.8%	30.3%	13.0%	47.4%	50.0%
きれいにしてほしい（ゴミ、雑草など）	56.3%	27.3%	43.5%	36.8%	42.9%
遊具を新しくしてほしい	43.8%	42.4%	47.8%	63.2%	42.9%
トイレがほしい・きれいにしてほしい	37.5%	72.7%	52.2%	73.7%	28.6%
休憩できるところを増やしてほしい	12.5%	18.2%	26.1%	5.3%	0.0%
ドッグラン	0.0%	3.0%	8.7%	10.5%	14.3%
お花が欲しい	12.5%	6.1%	8.7%	10.5%	0.0%
その他	25.0%	24.2%	21.7%	15.8%	7.1%

③ 新しい公園をつくるとしたら、どう思いますか。

全体では 70%以上の生徒が「新しい公園が欲しい」と回答しています。学校別で特にニーズが高いのは西信達小学校で、90%を超えています。その一方で、砂川小学校や新家小学校は今のままで良いと回答した生徒が半分近くに登りました。



④ よく行く公園を教えてください。

小学校別に 2 票以上回答があった公園を挙げると以下のようになります。

①西信達小学校 n= 13

公園名	記入数
りんくう南浜公園	7
中小路 1 号公園	2

②樽井小学校 n= 8

公園名	記入数
樽井公園	3

③雄信小学校 n= 28

公園名	記入数
男里第 2 公園	18
幡代ちびっこ広場	6

④鳴滝小学校 n= 18

公園名	記入数
鳴滝第 3 公園	15

⑤信達小学校 n= 25

公園名	記入数
牧野公園	14
俵池公園	7
開発公園①	2

⑥一丘小学校 n= 12

公園名	記入数
一丘公園	3
海宮宮池東公園	2
泉南りんくう公園(テニスコートのみ)	2

⑦砂川小学校 n= 29

公園名	記入数
砂川第二公園	19
砂川公園	3
丘の池公園	2

⑧新家小学校 n= 20

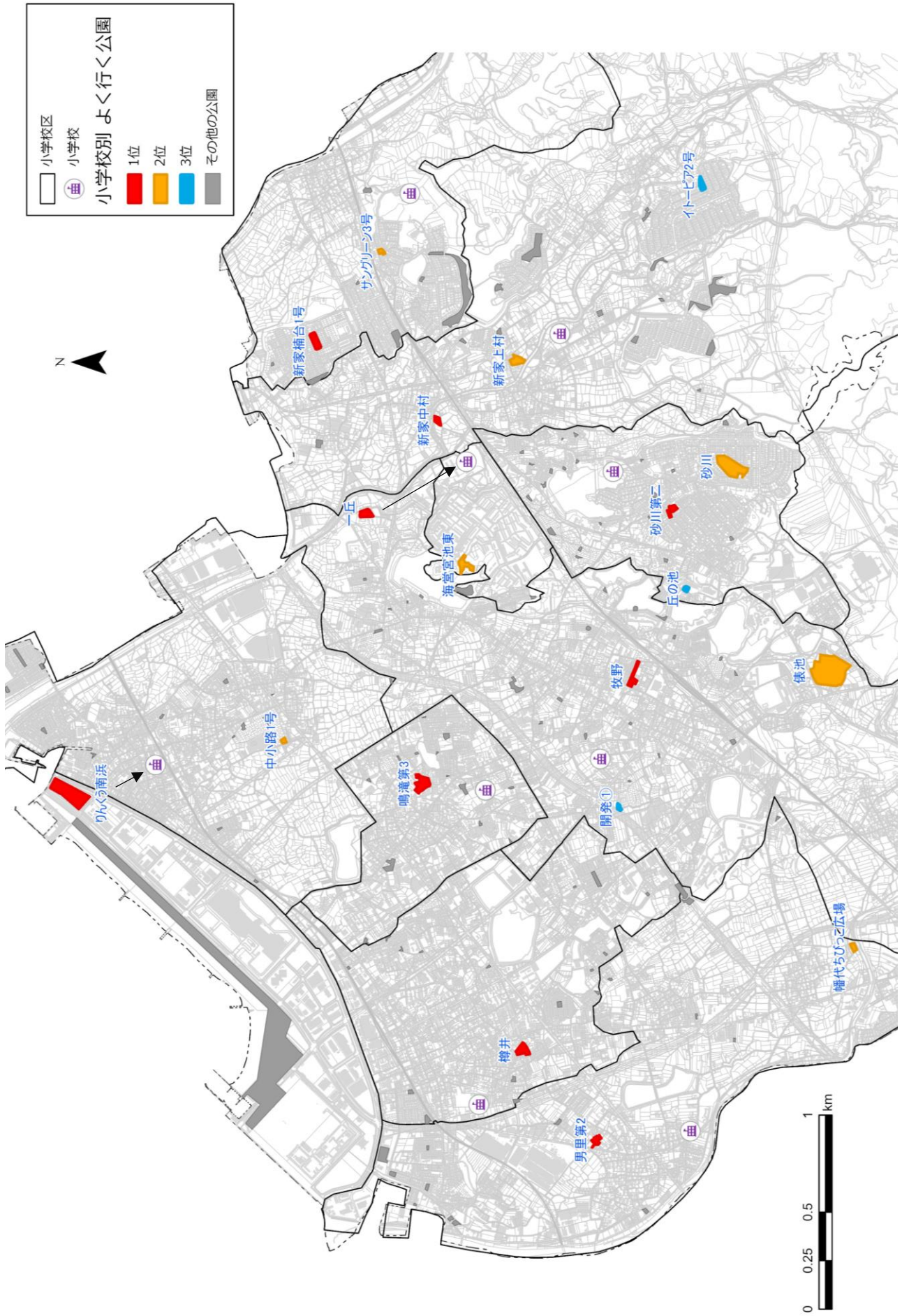
公園名	記入数
新家中村公園	10
新家上村公園	3
イトーピア 2 号公園	2

⑨新家東小学校 n= 18

公園名	記入数
新家楠台 1 号公園	13
サングリーン 3 号公園	2

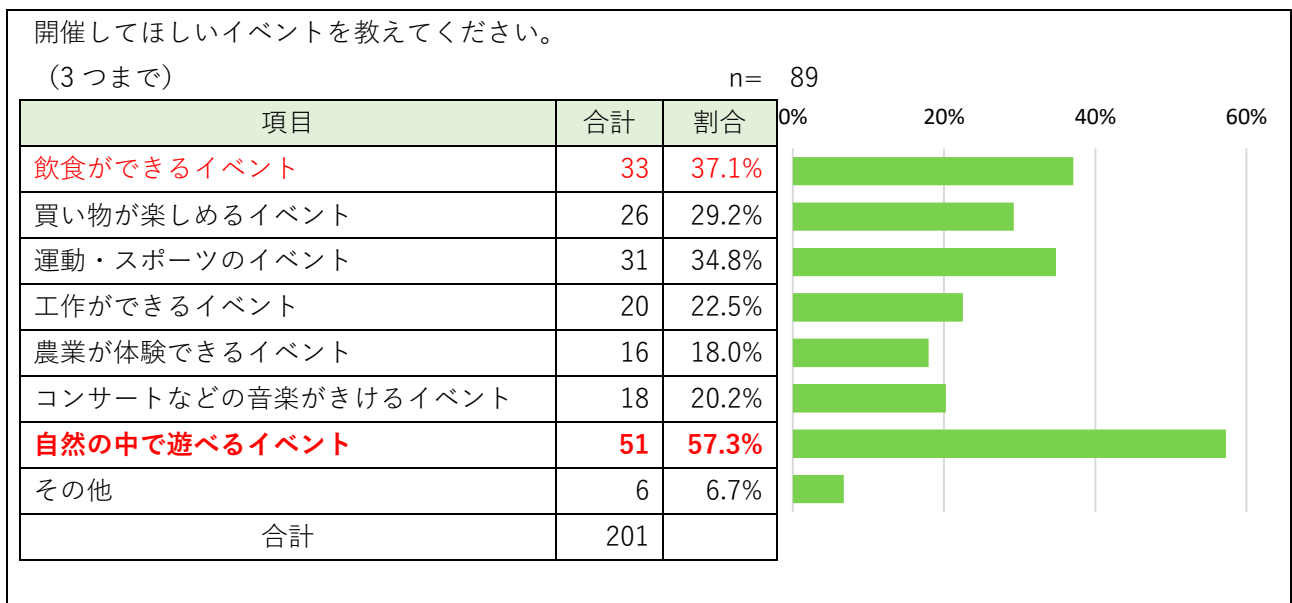
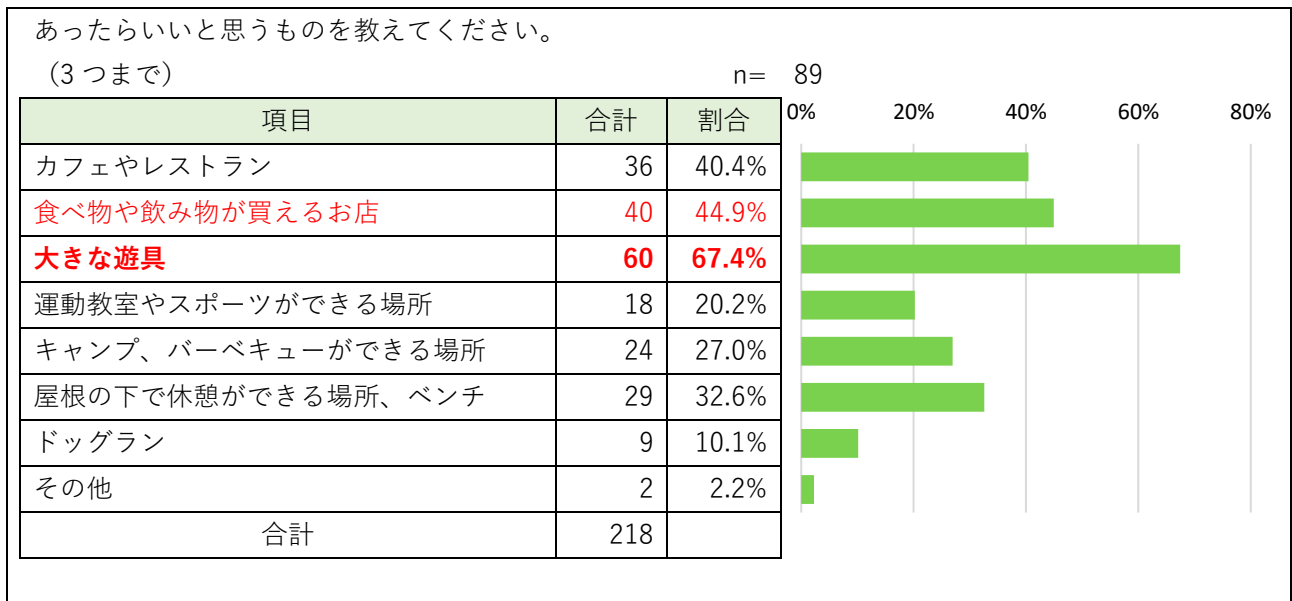
⑩東小学校 n= 9

公園名	記入数
りんくう南浜公園	2



⑤ 農業公園「花咲きファーム」にあっという間と思うもの、開催してほしいイベント

農業公園における施設としては小学生でも遊べるような「大きな遊具」、イベントでは「自然の中で遊べるイベント」のニーズが特に高く、自然の中でのびのびと遊べるような整備や利用方法が望まれています。



(3) 結果まとめ

- 普段公園を利用しない生徒が3割以上となりました。
- トイレの設置や増設と答えた生徒が最も多く、また遊具・清掃についての意見が上位に挙がりました。
- 全体では70%以上の生徒が「新しい公園が欲しい」と回答しています。
- 農業公園に対しては「大きな遊具」や「自然の中で遊べるイベント」などのニーズが高くなっています。

3-3 自治会等アンケート

(1) 自治会等アンケート調査概要

① 調査概要

- ・調査対象者 : 清掃業務を委託している自治会等の代表…44 人
- ・調査方法 : 調査票による本人記入方式
- ・調査実施時期 : 2023（令和4）年9月

② 回収結果（ ）内は Web 回答）

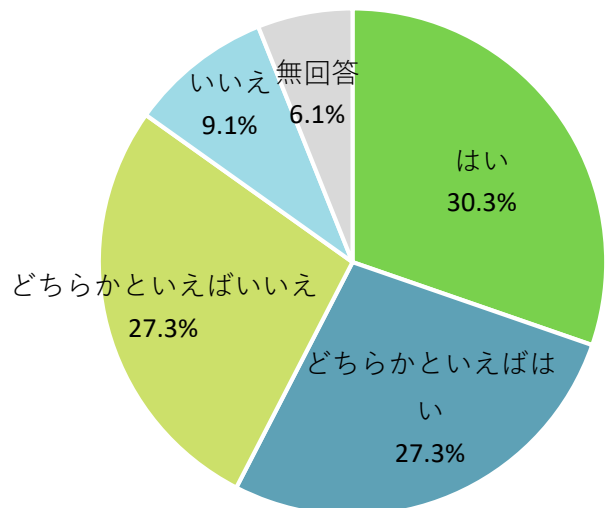
配布数（A）	有効回収数（B）	有効回収率（B/A）
44	33	75%

(2) 自治会等アンケート結果

① 今後も貴団体で公園管理を続けていきたいですか。

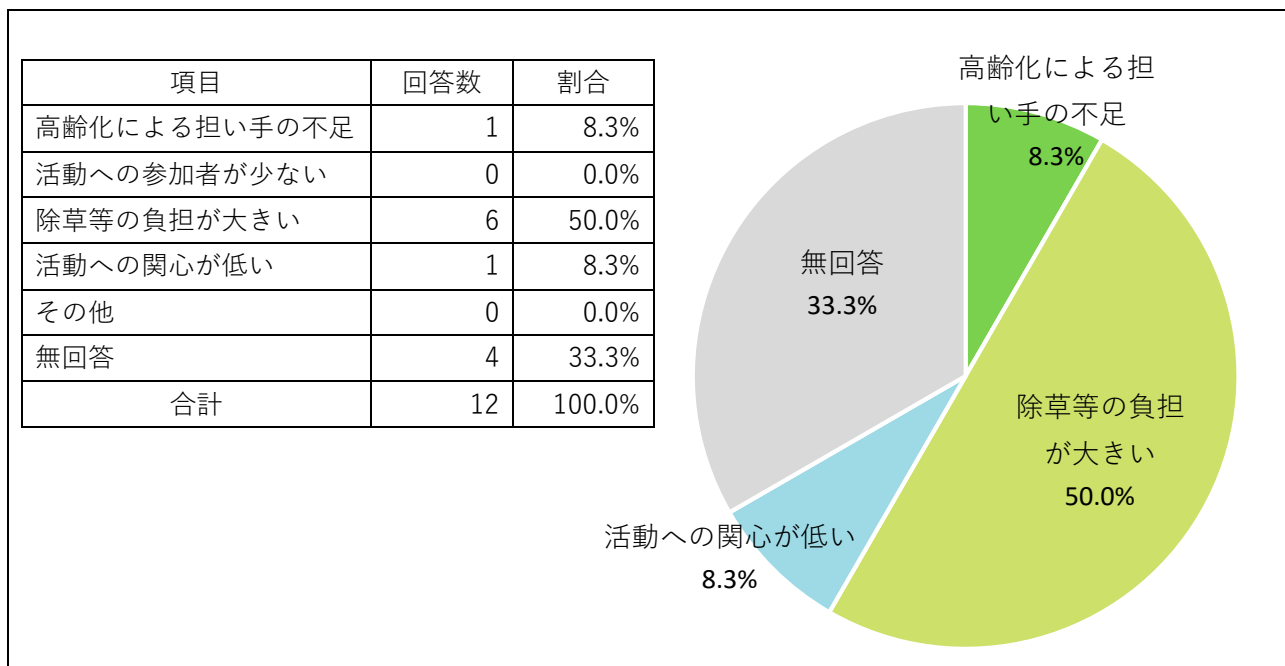
半数近くが「はい」「どちらかといえば、はい」を選んだ一方、約 35%の自治会等が「いいえ」「どちらかといえば、いいえ」といった今後も公園管理を続けていくことに対して否定的な意思を持っていることが分かります。

項目	回答数	割合
はい	10	30.3%
どちらかといえばはい	9	27.3%
どちらかといえばいいえ	9	27.3%
いいえ	3	9.1%
無回答	2	6.1%
合計	33	100.0%



② ①で「いいえ」とお答えした団体に質問します。公園の管理を続けられない理由を1つ教えてください。

今後の公園管理について、続けていきたくないと答えた自治会等の半数は、その理由として「除草等の負担が大きい」ことを上げています。



(3) 結果まとめ

- 清掃を委託している自治会等の内、約半数が今後も活動を続けたいと回答しています。
- 清掃を委託している自治会等の内、約 35%が活動の継続について否定的です。
- 清掃活動の継続に否定的な自治会等の内、半数はその理由を「除草等の負担が大きい」と回答しています。

4 現状と課題のまとめ

4-1 小学校区ごとの現状と課題のまとめ

① 西信達小学校 ・2500㎡以上の公園が校区内になく、市街化区域内の公園誘致圏カバー率も約77.8%に留まっている。 ・中心部では年少人口が多いにもかかわらず、遊具数の少ない公園が配置されている。	
小学生アンケート結果	・公園を利用している生徒の半数以上が週に1回以上利用している。 ・公園に行く手段は多くが自転車であり、その目的は、友人と遊具で遊ぶことが多い。 ・今ある公園に対しては、公園の清掃やトイレの設置が求められている。 ・新しい公園が欲しいと答えた割合が90%を超え、新規の公園に対するニーズが他地域より著しく高い。
② 樽井小学校 ・校区の北部は、他地域と比べて人口が集中している地区である。 ・高齢者が集中している地区に休養施設が少ない公園が配置されている。	
小学生アンケート結果	・公園を利用している生徒の半数以上が週に1回以上利用している。 ・公園に行く手段は自転車が多いが徒歩で向かう生徒もいる。またその目的は、友人や家族と遊具で遊ぶことが多い他、公園を友人との待ち合わせとして利用している生徒もいる。 ・今ある公園に対しては、ボール遊びができるようなルール改正や遊具の一新、トイレの設置が求められている。 ・新しい公園が欲しいと答えた割合が80%を超え、新規の公園に対するニーズが他地域より高い。
③ 雄信小学校 ・5000㎡を超える長山緑地公園や、2500㎡を超える男里公園、1000㎡を超える公園も2つ立地するものの、校区北部に街区公園が偏っており、市街化区域内の公園誘致圏カバー率も約62.9%に留まっている。	
小学生アンケート結果	・90%を超える生徒が公園を利用していると回答。 ・公園に行く手段は自転車が多い。またその目的は、友人と遊具で遊ぶことが多い他、公園を友人との待ち合わせとして利用している生徒もいる。 ・今ある公園に対しては、遊具の一新、トイレの設置が求められている。特に遊具に関しては他地域と比べて高い支持がある。 ・新しい公園が欲しいと答えた割合が80%を超え、新規の公園に対するニーズが他地域より高い。
④ 鳴滝小学校 ・25%を超える生徒が公園を利用していないと回答。	
小学生アンケート結果	・公園に行く手段は多くが自転車であり、その目的は、友人と遊具で遊ぶことや運動をすることである。 ・今ある公園に対しては、公園の清掃やトイレの設置が求められている。特に公園の清掃に関しては他地域と比べて高い支持を得ており、高いニーズがある。 ・新しい公園が欲しいと答えた割合が80%を超え、新規の公園に対するニーズが他地域より高い。

⑤ 信達小学校	
<ul style="list-style-type: none"> ・25%を超える生徒が公園を利用していないと回答しているものの、公園を利用している生はその半数以上が週に1回以上利用している。 	
小学生アンケート結果	<ul style="list-style-type: none"> ・公園に行く手段は多くが自転車であり、その目的は、友人と遊具で遊ぶことや運動をすることの他、公園を友人との待ち合わせとして利用している生徒もいる。 ・今ある公園に対しては、公園の清掃やトイレの設置が求められている。特にトイレの設置・増設に関しては他地域と比べて高い支持を得ており、高いニーズがある。
⑥ 一丘小学校	
<ul style="list-style-type: none"> ・学校区が狭く、校区内に立地する公園は3つのみである。海栄宮池東公園や海栄宮池東公園といった5000㎡を超える公園があるものの、西に偏っており、市街化区域内の公園誘致圏カバー率も約87.9%に留まっている。 ・高齢者が集中している地区に休養施設が少ない公園が配置されている。 	
小学生アンケート結果	<ul style="list-style-type: none"> ・25%を超える生徒が公園を利用していないと回答。 ・公園に行く生徒の移動手段は徒歩が半数を占める他、自転車が挙げられる。またその目的は家族との散歩や友人と遊具で遊ぶことが挙げられる他、公園を友人との待ち合わせとして利用している生徒もいる。 ・今ある公園に対しては、遊具の一新、トイレの設置が求められている。
⑦ 砂川小学校	
<ul style="list-style-type: none"> ・他地域と比べて人口が集中している地区である。 ・北部では年少人口が多く、一定程度の公園があるものの、線路を挟んで南には遊具数の多い公園、北側には遊具数の少ない公園が固まっている。 ・高齢者が集中している地区に休養施設が少ない公園が配置されている。 	
小学生アンケート結果	<ul style="list-style-type: none"> ・公園を利用している生徒の半数以上が週に1回以上利用している。 ・公園に行く生徒の移動手段は徒歩が半数近くを占める他、自転車が挙げられる。またその目的は友人と遊具で遊ぶことや運動をすることである。 ・今ある公園に対しては、遊具の一新、トイレの設置が求められている。特に遊具に関しては他地域と比べて高い支持を得ている。 ・「新しい公園が欲しい」と「今のままで良い」と答えた割合が同数程度であり、新規に公園をつくる他、今ある公園をより良くしていくニーズも高い地域である。
⑧ 新家小学校	
小学生アンケート結果	<ul style="list-style-type: none"> ・公園を利用している生徒の半数以上が週に1回以上利用している。 ・公園に行く手段は自転車がが多いが徒歩で向かう生徒もいる。またその目的は、友人と遊具で遊ぶことや運動をすることが挙げられる。 ・今ある公園に対しては、公園の清掃、遊具の一新、トイレの設置が求められている。 ・「新しい公園が欲しい」と「今のままで良い」と答えた割合が同数程度であり、新規に公園をつくる他、今ある公園をより良くしていくニーズも高い地域である。

⑨ 新家東小学校

・面積が 10000 m²を超える新家公園がある他、2500 m²を超える公園が2つ、1000 m²を超える公園が2つあり、広い公園を豊富に有する。

小学生
アンケート
結果

- ・90%を超える生徒が公園を利用していると回答しており、かつその半数以上が週に1回以上利用している。
- ・公園に行く手段は自転車が多いが徒歩で向かう生徒もいる。またその目的は、友人と遊具で遊ぶことや運動をすることが挙げられる。
- ・今ある公園に対しては、遊具の一新、トイレの設置が求められている。特に遊具に関しては他地域と比べて高い支持を得ている。

⑩ 東小学校

・校区のほとんどが山林地帯と田畑が占めている。
・校区内には 1000 m²以上の公園がないだけでなく、公園も2つのみと他地域と比較しても極めて少ない。

小学生
アンケート
結果

- ・25%を超える生徒が公園を利用していないと回答。
- ・公園に行く手段は徒歩が多い他、自家用車で向かう生徒の割合が大きい。またその目的は、家族や友人と遊具で遊ぶことや運動をすることが挙げられる。自家用車で公園に向かう生徒も多いことから他地域よりも家族と公園に向かうと回答した生徒の割合が大きかった。
- ・今ある公園に対しては、ボール遊びができるようなルール改正や、公園の清掃、遊具の一新が求められている。

4-2 全体の現状と課題のまとめ

(1) 公園の面積

1人あたり都市公園面積は目標を達成しているものの、小規模な公園が約4割を占めています。

- ・ 1人あたり都市公園面積は8.75㎡/人で2019年3月に定めた泉南市みどりの基本計画の目標を達成しており、人口減少により1人あたり公園面積は今後さらに増加が見込まれます。
- ・ しかし、この目標達成は2020年の泉南りんくう公園の開設によることが大きく、今後みどりの量と質の維持・増進に取り組む必要があります。
- ・ 本市で管理する公園は小規模なものが多く、全体の約77%が1,000㎡未満、施設整備等の制約条件や活用条件がより厳しくなる300㎡未満の狭小な公園は39%に達しています。また宅地開発等で設置された小規模な公園が数多いことで、清掃・除草や施設点検等を効率的に実施しづらい状況が生まれています。

(2) 公園の配置

公園の数は多いものの、公園が偏って配置されている状況です。

- ・ 9小学校区のうち7小学校区で市街化区域の誘致圏カバー率が80%を超え、100%に達する小学校区もあることから、「歩いていける身近な場所に公園がある」状況はおおむね達成できていると言えます。
- ・ 小規模な公園が偏って配置されており、多数の公園の誘致圏が重複しています。
- ・ 規模の大きな公園は市街化区域の北部（泉南りんくう公園、りんくう南浜公園）と南部（俵池公園、新家公園等）に偏在しており、市街化区域の中心部に規模の大きな公園が少ない状況にあります。

(3) 公園の施設

遊具等の老朽化に加えて、地域状況とのミスマッチが生じています。

- ・ 開園から20年以上経過したものが公園数の半数以上を占めており、今後さらに老朽化対策を含めた施設の安全管理がより一層重要になってきます。
- ・ 校区によっては年少人口が多い地域に遊具数の少ない公園が配置されていることが見受けられます。また、一丘小学校区や砂川小学校区、樽井小学校校区では、高齢者が集中している地域に休養施設の少ない公園が配置されているため、公園施設と周囲のニーズを合わせていく必要があります。
- ・ 遊具や休養施設の数に偏りがあることや小規模な公園が多いこと、誘致圏が重複していることを考慮すると、今後は地域ごとの現状に合わせた公園施設の整理、機能の分担が求められます。

(4) 公園の維持管理・整備状況

公園の維持管理状況に不満を感じている市民が多く、施設の拡充も望まれています。

- ・ 公園を日常的に使用している人もいる一方、公園を利用していない人が半数以上を占めることから、今後利用者を増やしていくための施策が必要となります。
- ・ 公園に対して満足していることはないと考えている利用者もいることから、今後利用者の満足度を上げる施策が必要となります。
- ・ 不満なこととして、公園の清潔さや遊具の老朽化について票が多く入っており、今後の課題として維持管理方法の見直しや老朽化対策を進めていく必要があります。

- ・ 市民がよく利用している公園として、比較的面積が大きい公園に票が集まりました。特に票が多かったりんくう南浜公園、農業公園「花咲きファーム」、俵池公園は、今後も積極的な利活用が期待されます。
- ・ 東屋やベンチ等の休養施設や遊具の設置・増設の市民ニーズが高く、トイレについても現在設置している公園が市内に5カ所のみしかないことから増設を求める声が多くありました。
- ・ 小学5年生の約4割は週1回以上公園を利用しています。小学生が公園に求める施設としては、市民アンケート同様、トイレの増設を求める回答が多くありました。
- ・ 一部の公園は区・自治会等に管理委託を行っていますが、区・自治会から「除草等の負担が大きい」等の理由から、今後も管理活動を続けるのは難しいという意見もでています。

【分析結果】

- ・ 公園は生活にうるおいややすらぎを与える空間であるとともに、地域のニーズに応じて多様な機能を発揮する場所です。本市には**数多くの公園があるものの、市民に十分に利用されているとは言えず、使いたくなる魅力ある公園が少ない**状況となっています。その中で、面積が比較的**大きい公園は多くの市民に利用されています**。
- ・ 今回のアンケートで維持管理水準の向上や、公園施設の拡充を求める声を多くいただきました。公園を利用する機会が多い**小学生からは特にトイレの増設が求められています**。
- ・ 人口減少に伴い財政的に厳しい局面にある本市において、**全ての公園の管理・整備レベルを上げることは困難**です。そのような状況でも魅力ある公園を増やし、公園が持つ機能を効果的に発揮させるためには、利用状況などに応じた**維持管理・整備レベルの設定**や管理形態の見直しによる**維持管理費の削減、公園の配置・機能の集約**などを行っていく必要があります。

5 全体計画

5-1 目指すべき公園の未来と基本方針

公園に関する現状と課題を踏まえて、目指すべき公園の未来と公園の整備運営の基本方針を以下のように定めます。

みんなが主役、みんなの公園

基本方針 1 みんなで支える公園（維持管理）

- ◆ 多様な主体と手法を取り入れることで、市民が使いたくなる公園を将来にわたって守ることができる持続可能な維持管理体制を実現します。

取組 1-1 多様な主体が参画可能な仕組みづくり

取組 1-2 メリハリのある維持管理計画

取組 1-3 包括的管理手法等の活用

取組 1-4 多様な制度による財源の確保

基本方針 2 みんながつながる公園（活用促進）

- ◆ 公園で様々な活動ができる仕組みや機会をつくることで公園の日常的な利活用を促進するとともに、公園を拠点として人々がつながり、地域が活性化することを目指します。

取組 2-1 協働による柔軟な公園活用

取組 2-2 公園を活用する人材の育成

取組 2-3 公園の魅力や活動の情報発信

基本方針 3 みんなのお気に入りとなる公園（整備）

- ◆ 地域のニーズや課題を踏まえた公園配置の適正化や公園機能の見直しを行うことで、すべての市民にとって行きやすく、使いたいと思われる公園を増やします。

取組 3-1 公園の再整備

取組 3-2 公園機能の見直し

取組 3-3 公園の廃統合

5-2 取組方針

基本方針を具体化するための取組方針を次のように定めます。

基本方針1 みんなで支える公園（維持管理）

取組1-1 多様な主体が参画可能な仕組みづくり

現在、本市の半分以上の公園について清掃などの維持管理を区・自治会に委託しています。しかし、自治会の加入率の減少や加入者の高齢化によりこれまでの維持管理を維持することが難しくなっている地域もあります。そこで、委託する団体を区・自治会に限らず NPO 法人やボランティア団体、スポーツクラブなど地域で活動している団体まで拡大できるようにする仕組みづくりを進めます。これにより、委託する公園数や参加者数を増やすだけでなく、参加者同士の新たな交流等が生まれることも期待できます。

関連：アドプト・プログラム

本市では道路や河川において、地元自治会や企業が自主的に清掃、除草、花栽培などの美化活動を実施するアドプト・プログラムを展開しています。



参考事例：公園清掃委託制度（船橋市）

船橋市では、地域に密着した公園や住民のコミュニティ形成、地域の人々に愛着心を持ってもらうことを目的として、「公園清掃委託制度」に協力する町会等の団体を募集しています。

募集の対象としている団体

- ・ 公園等の在る町会・自治会
- ・ 老人会・子供会・青少年育成会等の団体
- ・ ゲートボール、少年野球、ボランティア等の団体
- ・ 地域外の任意の団体

取組1-2 メリハリのある維持管理計画

公園施設の劣化状況は周辺環境や利用状況などの影響により、同じ設置年であっても異なることがあります。そのため公園における清掃などの維持管理について、水準・頻度を画一的に決めるのではなく、泉南市公園長寿命化計画（令和4年4月）や泉南市みどりの基本計画等の関連計画に基づき、個々の公園の状況や、市民意向調査、地域特性等を考慮して計画的に実施していきます。

参考事例：計画的に公園の清掃を実施（大垣市）

市内全ての都市公園の砂場を対象に、計画を立てて専門業者による清掃（掘り起こし、ごみの除去、消毒）を実施しています。また、利用者の多い公園については、他の公園と比較して清掃頻度を高くするなど、公園の利用状況に応じた清掃計画を実施しています。



専門業者による砂場清掃の様子

取組 1-3 包括的管理手法等の活用

事業者へ維持管理業務を複数公園まとめて委託する包括的管理手法の導入を目指します。包括的管理手法を導入するメリットとして、公園ごとに必要であった契約等の事務コスト削減や、維持管理水準の向上と維持などが挙げられます。

また、包括的に管理する対象施設として公園に限らず、道路等の異なる公共施設との管理や、近隣市町村と連携した広域的な管理など、様々な可能性を視野に入れて検討を進めます。

参考事例：包括管理制度（東村山）

東村山市では、経験と知識に基づく多様なサービスの提供と効率的な維持管理を行うため、都市公園、児童遊園など 169 の公園施設を対象に包括管理制度を導入しています。

管理体制

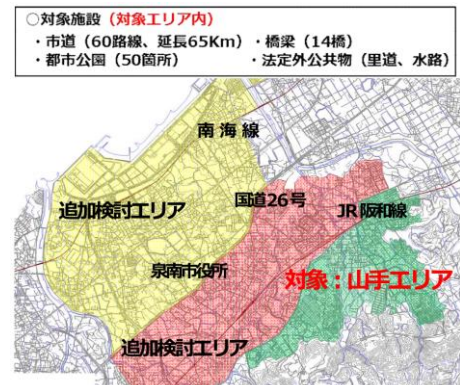
右図のとおり市域を4つのブロックに分け、それぞれに作業スタッフを配置。



関連：インフラ施設包括的管理業務委託導入検討調査

(国土交通省 R5 年度先導的官民連携支援事業採択案件)

本市は道路、橋梁、公園、法定外公共物等を別々に維持管理してきましたが、将来にわたりインフラ施設の管理を維持できるよう、官民連携による包括的な管理業務委託の導入検討を進めています。



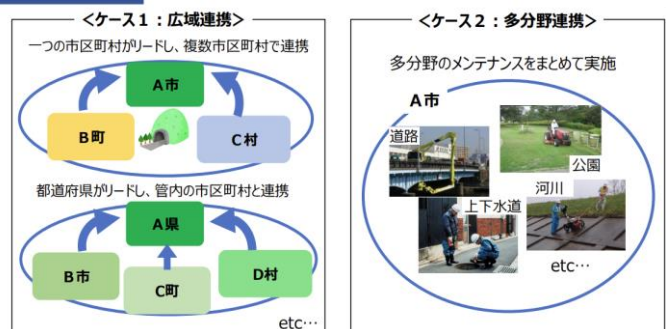
関連：地域インフラ群再生戦略マネジメント モデル地区（令和5年12月）

国土交通省は、市区町村の枠を超えた広域的な視点で、複数・他分野のインフラをまとめて取り扱い、効率的かつ効果的にインフラを管理・維持する「地域インフラ群再生戦略マネジメント」を進めています。

本市を含む泉州地域8市4町と大阪府が本事業のモデル地域として選定されており、広域連携による持続可能な公共施設の維持管理を目指します。

群マネのイメージ

提供：https://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/sogo03_sg_000214.htm



取組 1-4 多様な制度による財源の確保

今後、公園施設の老朽化や人口減少により、公園の維持管理に係る財政状況はより一層厳しくなることが予想されます。そこで幅広い市民や事業者からのサポートを得る手段として多様な制度を導入することによる財源の確保に努めます。

関連：ふるさと泉南応援寄附制度

本市では、ふるさと納税（寄附）制度を活用し、寄附金を通じて個性豊かで魅力的なまちづくりを行うため「ふるさと泉南応援寄附金」の受付を行っています。

寄附によって実施された市立学校園遊具修繕事業▶



関連：泉南市緑化基金条例

本市では、緑豊かな生活環境をつくるため、泉南市緑化基金を設置しており、沿道緑化や花苗配布などに基金を活用しています。

参考事例：クラウドファンディングを使用した公園改革（富山県舟橋村）

日本一面積の小さい村である富山県舟橋村にて、遊具を作る為の材料費・施工費を確保する手段としてクラウドファンディングが実施されました。



基本方針2 みんながつながる公園（活用促進）

取組2-1 協働による柔軟な公園活用

公園内にある花壇を地域住民が園芸を楽しむ場として貸出したり、市民または事業者等が主体となってイベントを開催する際に公園を開催場所の候補として挙げてもらう等、公園で様々な主体が自主的に活動するような仕組みを検討し、公園とその周辺の賑わい創出につなげます。

その取り組みの一環として、事業者等に公園を暫定的に活用してもらうことで、公園の利用可能性を調査する社会実験（トライアル・サウンディング）を実施します。

参考事例：ふれあい花壇事業（船橋市）

船橋市では、地域に密着した公園として市民に愛着心をもってもらうために、公園の清掃をお願いしている住民に花を提供し、公園内花壇への植え付けと維持管理をお願いしています。



事業実施の様子

参考事例：トライアル・サウンディング（奈良市）

奈良市ではトライアル・サウンディングにより、行政主体の取組みだけでなく、公民連携で一層柔軟に使いこなす新たな発想や仕組みを取り入れ、個性と魅力ある公園空間を創出し、地域コミュニティを活性化する検証を行いました。

対象公園

市内の5公園

実施期間

令和4年3月30日～令和6年3月31日

実施イベント

マルシェや音楽イベント、キッチンカー、ワークショップ、キャンプ、正月イベント等、令和6年2月現在30のイベントが行われました。



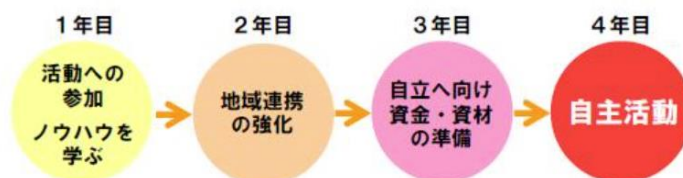
イベント当日の様子

取組 2-2 公園を活用する人材の育成

公園の維持管理に関わっている人、公園を使って活動したいと考えている人などを対象に、公園に関する知識や技術を学ぶ機会を提供することで、より魅力的な公園づくりを担うことができる人材を育成していきます。また、この取り組みを通して、アドプトプログラム等の地域ボランティアの活動人数や公園の暫定利用を増やすことにつながります。

関連事例：大阪府「みんなで育てる花いっぱいプロジェクト」

学校に土と種や苗を支給し、技術支援のもと、学校内で子どもたちが花を育てていくプロジェクトです。育苗後の花の半分は学校が緑化に利用し、残りは大阪府が管理する道路などの公共空間の緑化に活用していきます。大阪府（土木事務所）はこの活動を3年間サポートしています（4年目以降は学校と地域の連携による自主活動）。



参考事例：こくぶんじカレッジ（国分寺市）

まちがじぶんごとになるをテーマに、国分寺のまちを楽しむ活動を始めた人、地域とつながる事業やお店の新しい形を考えたい人、それらの活動をサポートしてまちをもっと元気にしたい人が、学び・活動する連続講座を開催しています。最終的には国分寺のまちを居心地よくするプロジェクトを講座参加者がチームを作って企画します。

<座学・情報提供例>

- ・ 市職員から市が取り組む「まちづくり」について紹介
- ・ パークコーディネーターより市内公園で実施された市民企画イベントの事例を紹介

取組 2-3 公園の魅力や活動の情報発信

市内にどんな公園があるのかをまとめた地図を作製する、公園の魅力を市のホームページや SNS に掲載する等、公園に関する情報発信を積極的に行うよう努め、公園の周知と活用を促します。また、公園における市民や事業者等が主体となって行われる活動も発信することで、公園における活動に興味をもち、最終的に活動に参加することにつながります。

基本方針 3 みんなのお気に入りとなる公園（整備）

取組 3-1 公園の再整備（民間活力の導入）

既存公園のリニューアルにあたっては、Park-PFI などの官民連携手法や、民間事業者等のアイデアやノウハウの導入を検討する等、魅力的な公園の整備を目指します。特に市民アンケートの結果から利用者が多いと予想される3公園については再整備を優先的に検討していきます。

表 5-1 各公園の再整備イメージ

りんくう南浜公園	現状	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 代表的な施設としてグラウンドや大型遊具などがあります。 ▶ 市民アンケートにおける「よく利用する公園」で最も票数が多い公園でした。 ▶ 新たに欲しい施設として「東屋などの野外休憩スペース」が最も多く、その他には「飲食店」、「屋内休憩スペース」、「幼児向けの遊具」などが挙がりました。 ▶ 西信達小学校の生徒が「よく行く公園」として最も票数が多く、「トイレや雑草などきれいにしてほしい」という意見が目立ちました。
	整備方針	<p>子どもが安心していきいき遊べる公園</p> <p>親子連れの方や小学生の利用者にとって、安心・安全に利用することができるように、清掃などの維持管理を徹底しつつ、休憩スペースや幼児向け遊具などの親子連れのニーズに適した施設の拡充を目指します。</p>
俵池公園	現状	<ul style="list-style-type: none"> ▶ グラウンドがあり、グランドゴルフや少年野球など複数の利用団体が活用しています。 ▶ 新たに欲しい施設として「幼児向けの遊具」、「屋内休憩スペース」、「健康づくりができる遊具」などが挙がりました。 ▶ 信達小学校の生徒が「よく行く公園」として2番目に票数が多く、運動を目的とした利用が多くなりました。 ▶ 俵池公園をよく使う小学生からは、「トイレをきれいにしてほしい」という意見が目立ちました。
	整備方針	<p>市域山側の多世代の交流拠点となる公園</p> <p>様々な年代の方が運動を楽しむことができる、市の山側地域において貴重なオープンスペースとなっています。今後は公園の特徴である“広さ”を活かし、公園が持つ機能を増やすことで、多くの市民が様々な目的で集い、交流が生まれる公園を目指します。具体策の1つとして、トイレや休憩施設などの拡充を行い、憩いの場として快適に公園を利用できるようにします。</p>
農業公園	現状	<ul style="list-style-type: none"> ▶ バラ園や芝桜が人気であり、最盛期には多くの人々が来園しています。 ▶ 泉南インターチェンジに近く、市外から自動車アクセスしやすいものの、イベント開催時以外の期間は利用者が少ないため、活性化をはかる必要があります。 ▶ 市民アンケートでは飲食関係の施設・イベントのニーズが高く、小学生のアンケートでは大型遊具の設置や自然の中で遊ぶようなイベントのニーズが高いことが分かりました。
	整備方針	<p>一年を通してみんなに愛される公園</p> <p>花咲きファームは、本市において自然と触れ合うことのできる貴重な公園となっていることから、いまの良さを活かしつつ、1年を通して市内外を問わず多くの人々が訪れる公園を目指します。</p> <p>そのような公園を実現するための取組みの1つとして、子どもの多様な遊びの機会を提供するとともに、遊具等多目的利用の整備も検討します。</p>



設置遊具イメージ
(熊取町「永楽ゆめ公園」の設置遊具)

取組 3-2 公園機能の見直し

本市は同じような遊具と休憩施設を設置した公園が多く、公園の立地状況や現在の利用者ニーズに適していない公園もあります。そこで、公園ごとに現在の機能を見直し、必要に応じて新たな機能を公園に与えることで、市内の公園が多様な機能と役割を持つ空間となることを目指します。機能の見直し方法は、例えば、以下のような視点が考えられます。

(例)

- ▶ 周辺に子どもが多い、または保育所等の施設が立地している公園 → インクルーシブ遊具の設置
- ▶ 防災設備が少ない地域の公園 → かまどベンチや防災倉庫など防災設備の設置
- ▶ 将来的に高齢者が多くなる地域の公園 → 四阿などの休息施設の拡充、健康遊具の設置
- ▶ 子どもの利用者が多い公園 → ボール遊びができるようなルールの緩和、ゴールネットの設置

機能を見直す公園として、利用者が比較的多い公園を優先的に検討していきます。

新家楠台 1 号公園 牧野公園 樽井公園 新家公園
 砂川公園 砂川第二公園 男里公園 男里第 2 公園
 鳴滝第 3 公園 一丘公園 新家中村公園 等

※市民アンケート、小学生アンケートにて「よく利用する公園」で上位に挙がった公園より抽出

参考事例：施設や利用の状況を踏まえた公園再整備（北海道芦別市）

芦別市では、遊具や休憩施設などの老朽化に加えて、少子高齢化やライフスタイルの変化により、利用者のニーズと公園の機能との間に乖離が生じ、公園の利用が低調になっています。そこで、地域住民の意見を取り入れながら再整備を進める「都市公園整備計画」を策定し、周辺状況を踏まえた再整備を進めています。

取組内容

【再整備による特徴ある公園の配置】

- ・地域性や利用者層に見合った特徴ある公園として、都市公園を再整備するため、大きく 5 つの役割を設定。
- ・町内会ごとに、再整備によって特徴ある公園が配置されるよう配置表を整理。

【管理基準に基づく再整備・施設更新】

- ・公園毎に利用頻度を踏まえて、管理基準と計画上の位置付けを整理し、再整備や老朽化した施設の取扱の方向性を提示。

■ 公園の特徴の 5 分類

A 年齢層を問わず憩える公園	D 地域住民の交流の場とした多種多様なレクリエーションの場となる公園
B 低年齢層を対象にした遊具の充実した公園	E 広い空間を多目的に利用できる公園
C 高齢者層を対象にした樹木等の景観に配慮した公園	

町内会ごとに配置を整理

町内会	A	B	C	D	E
〇〇町		1	1	1	
△町	1	1			
□町	1			1	1

取組 3-3 公園の統廃合

公園の配置の適正化を図るため、既存公園については利用状況や地域との話し合い等を踏まえて統廃合を検討します。なお、統廃合のために新たな公園の用地が必要となる場合は、公共施設跡地等の活用を検討します。統廃合後の公園跡地については地域のニーズを反映しながら有効活用します。

どの公園を対象に機能の見直しや統廃合するかについては、現在の利用状況や公園の誘致圏などを考慮しながら検討を行います。

参考事例：開発行為に係る公園等の設置要件の緩和（松原市）

松原市では、公園の維持管理の負担軽減や開発行為の促進を図る為、条例により、公園等の設置要件の緩和を行っています。

〈次のいずれかに該当する開発行為に限る〉

- ・近隣公園の境界から直線距離 500mの範囲内
- ・街区公園の境界から直線距離 250mの範囲内
- ・松原市児童遊園条例に制定する 1000㎡以上の児童遊園の境界から 250mの範囲内

開発行為に係る公園等の設置要件が緩和されます。

開発区域の面積が3,000㎡以上の開発行為を行う場合、開発区域面積の3%以上の公園等を設置する必要がありますが、公園の維持管理の負担軽減や開発行為の促進を図るため、「松原市都市計画法第33条第3項の規定に基づく開発行為に係る制限の緩和に関する条例」を制定し、以下のとおり、公園等の設置基準が緩和されることになりました。

（適用対象）

平成30年12月3日（月）以降の開発許可申請

（適用範囲）

次のいずれかに該当する範囲内に開発区域がすべて含まれる開発行為

（ただし、開発区域が市街化区域外又は他市の区域にわたる開発行為を除く。）

- ・近隣公園の境界から直線距離500mの範囲内
- ・街区公園の境界から直線距離250mの範囲内
- ・松原市児童遊園条例に規定する1,000㎡以上の児童遊園の境界から直線距離250mの範囲内

参考事例：学校跡地を利用した拠点となる公園整備（守口市）

守口市では、統廃合によって使われなくなった小学校跡地を都市公園として整備することで、エリアごとの拠点となる公園の確保を行いました。また、同時に新公園と誘致圏が重複する公園の廃止により、効率的な管理を実現しました。

学校跡地を利用した公園整備の取組例

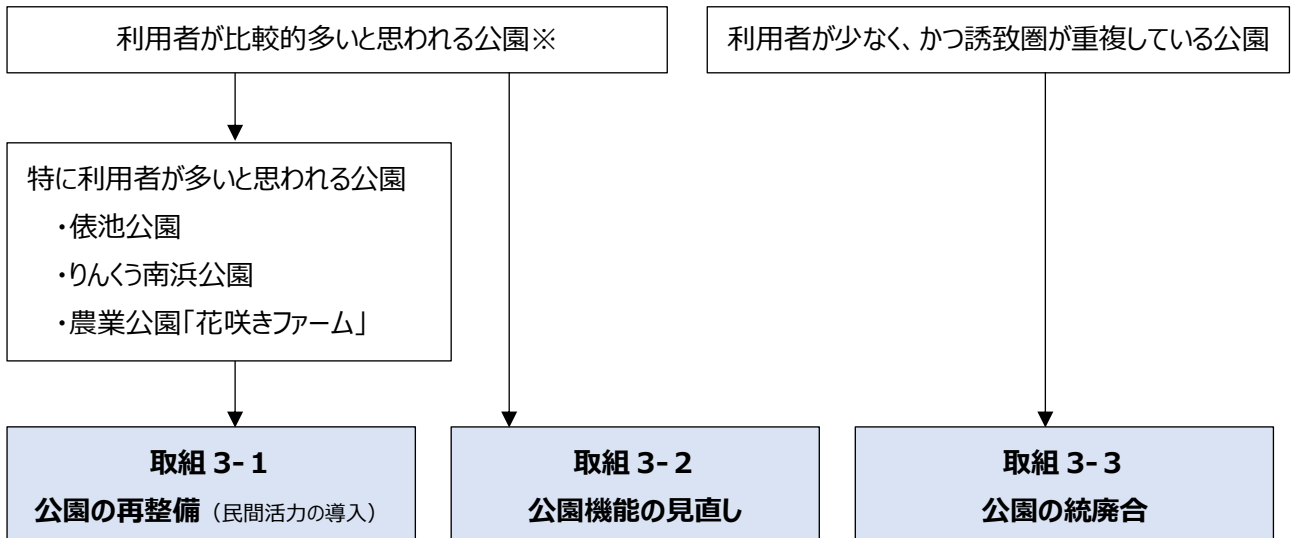
- ・大宮中央公園の拡張（旧さくら小学校跡地）
- ・南わくわく公園の新設（旧南小学校跡地）
- ・よつば未来公園の新設（旧東小学校跡地）



南わくわく公園



よつば未来公園



※利用者が比較的多いと思われる公園：市民アンケート・学校アンケートの「よく利用する公園」にて票が多い公園

図 5-1 整備等の対象とする公園の選定フロー案

泉南市都市公園等管理運営プラン ～現状と課題から考える基本方針について～

アンケート要約

市民

- ・公園利用→8割がほとんど利用していない
- ・公園の清潔さに不満がある
- ・魅力的にするためには？の回答1位は「今のままでいい」
- ・遊具、東屋、ベンチが欲しい

小学生

- ・3割が公園を利用していない
- ・トイレ、遊具が欲しい、きれいにしてほしい

自治会

- ・公園管理の継続について、可が3割、どちらかといえば可が3割
どちらかといえば不可が3割
- ・高齢化による担い手問題、除草の負担が大きい

アンケート要約

市民

- ・人気な公園は、花咲きファーム、りんくう南浜公園、俵池公園
 - ・花咲きファームでは、キッズカーやマルシェを希望
 - ・遊具の古さに不満がある
 - ・俵池公園に遊具が欲しい
- ### 小学生
- ・7割の生徒が、新しい公園が欲しい
 - ・樽井、東、西信達、新家東小学校の生徒はボールありおよび出来る公園が欲しい
 - ・花咲きファームに大きな遊具が欲しい
 - ・花咲きファームで、自然の中で遊べるイベントをしてほしい

現状と課題

- ・小規模な公園（300㎡未満）が全体の約4割
- ・小規模な公園が偏って配置されている
- ・10小学校中、7小学校校区で公園誘致園カバ率が9割越え
- ・誘致園率の低い小学校区の学生は4割が、公園を利用していない
- ・市の中心部に大きな公園が少ない

現状と課題

- ・遊具や休養施設の数に偏りがある
- ・大きめな公園が利用されている
- ・トイレのある公園は5か所のみ
- ・財政面で厳しいが維持管理向上が求められる

維持管理

基本方針1：みんなが支える公園

- ①多様な主体が参画可能な仕組みづくり
- ②メリハリのある維持管理計画
- ③包括的管理手法の活用
- ④多様な制度による財源の確保

整備

基本方針3：みんなのお気に入りとなる公園

- ①公園の再整備（民間活力の導入）
- ②公園機能の見直し
- ③公園の統廃合

活用促進

基本方針2：みんながつかえる公園

- ①協働による柔軟な公園活用
- ②公園を活用する人材の育成
- ③公園の魅力や活動の情報発信

みんなが主役
みんなの公園
～親しまれ活きる公園を～

参考資料

P28

- ・「和泉市みどりの基本計画【改訂版】」（令和2年11月）
<https://www.city.osaka-izumi.lg.jp/kakukano/dezainbu/kouenryokuti/gyoumu/midorinokihonkeikaku/14464.html>

P50

- ・「アドプト・ロード・樽井」
<https://www.pref.osaka.lg.jp/kishido/kishido-home/adopt023.html>
- ・「公園清掃委託制度」（船橋市）
<https://www.city.funabashi.lg.jp/machi/kouen/004/p086872.html>
- ・「計画的に公園の清掃を実施」（大垣市）
https://www.soumu.go.jp/kanku/chubu/menu_11.html

P51

- ・「包括管理制度」（東村山市）
https://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/shisetsu/koen/koen_siteikan.html
- ・「インフラ施設包括的管理業務委託導入検討調査」（国土交通省）
https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo21_hh_000204.html
- ・「地域インフラ群再生戦略マネジメント モデル地区」（国土交通省）
https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/infra_roukyuuka/k_dai13/index.html

P52

- ・「ふるさと泉南応援寄付制度」（泉南市）
<https://www.city.sennan.lg.jp/shisei/annai/furusato/1458795184094.html>
- ・「クラウドファンディングを使用した公園改革」（舟橋村）
<https://camp-fire.jp/projects/view/51944>

P53

- ・「ふれあい花壇事業」（船橋市）
<https://www.city.funabashi.lg.jp/machi/kouen/004/p086872.html>
- ・「トライアル・サウンディング」（奈良市）
<https://www.city.nara.lg.jp/site/parklife/137560.html>

P54

- ・「みんなで育てる花いっぱいプロジェクト」（大阪府）
<https://www.pref.osaka.lg.jp/koen/jigyou/hanaippai.html>
- ・「こくぶんじガレッジ」（国分寺市）
<https://kokubunji-college.net>

P55

- ・「設置遊具イメージ」（熊取町）
<https://kumatori-eirakupark.net/yugu.html>

P56

- ・「施設や利用状況を踏まえた公園再整備」（北海道芦別市）
https://www.mlit.go.jp/toshi/park/toshi_parkgreen_tk_000064.html （第7回 資料4）

P57

- ・「開発行為に係る公園等の設置要件の緩和」（松原市）
<https://www.city.matsubara.lg.jp/docs/page5396.html>
- ・「学校跡地を利用した拠点となる公園整備」（守口市）
公園マスタープラン：
<https://www.city.moriguchi.osaka.jp/kakukanoannai/toshiseibibu/doroka/kouennikanssuruk-eikaku/15015.html>
南わくわく公園：
<https://www.city.moriguchi.osaka.jp/kakukanoannai/toshiseibibu/doroka/seibikouji/15224.html>
よつば未来公園：<https://yotsuba-mirai.moriguchi-park.jp/>